

建機レンタル

No.13
2025年度版

Japan Construction Machinery Rental Association

一般社団法人
日本建設機械レンタル協会
Japan Construction Machinery Rental Association

“ワークライフ
バランス”
の実践を!

JCRAの働き方改革

2025
年度の目標

週休2日(4週8休)

実施率
100%
を目指します!



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

※レンタル協会制作「働き方改革 推進ポスター」

SUMITOMO

新型レジェスト誕生。

快適操作を、先進安全を、環境調和を、さらに極めて。現場の未来を革新していく進化をここに。

新たな到達点へ。

Real value, Real satisfaction

LEGEST
SH 200

写真はオプション装着車

変わりゆく現場環境に呼応する、誰もが使いやすい操作性、人を守る高度な安全機能、卓越の作業性と低燃費をその手に。

これからの社会が求める働きのため、自らを高め次なる世界を開く、新型レジェスト。

辿り着いたものだけが知る、その新たな実力と確かな価値は、稼働するすべての現場に大いなる満足を届けていきます。

新型レジェストシリーズ、ラインアップますます充実。

【標準機】



SH 120



SH 250



SH 330/SH 350HD

【後方超小旋回機】



SH 125X/SH 135X



SH 235X

【超小旋回機】



SH 125XU



住友建機販売株式会社

〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1(ThinkPark Tower)

TEL. 03-6737-2610 FAX. 03-6866-5112

<https://www.sumitomokenkibanbai.co.jp>



KOBELCO

Performance X Design

SK160 BLADE RUNNER



大容量チルトアングルドーザ搭載

16トンクラス後方超小旋回ショベル

土砂を押し為の本格ドーザ装着機
押し/均す/法面整形/吊り
重量を生かした転圧とマルチに活躍

詳細はこちら



2020年燃費基準
達成建設機械
★★★
国土交通省
燃費基準達成建設機械認定制度

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社 / 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 ☎ 03-5789-2111

コベルコ建機日本(株)本社 / 〒272-0002 千葉県市川市二俣新町17 ☎ 047-328-7111

北海道支社 ☎ 011-788-2382 東北支社 ☎ 0223-24-1141 関東支社 ☎ 047-328-2322 上信越支社 ☎ 025-259-3711

中部支社 ☎ 052-603-1201 関西支社 ☎ 06-6414-2108 中四国支社 ☎ 082-810-3660 九州支社 ☎ 092-410-3030

建機レンタル No.13

C O N T E N T S

● 巻頭言

会長挨拶

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会会長(代表理事) 倉内 広昭 …………… 4

2026(令和8)年 新年賀詞交歓会を開催 …………… 6

● 寄稿

建設機械施工のDX・GXにおける国土交通省の取組み

国土交通省大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 施工企画室 …………… 8

建設分野の特定技能外国人の受入れとサポートについて

(一社)建設技能人材機構(JAC) …………… 11

建設業界への入職促進へJCMA重機部の取組み

一般社団法人 日本建設機械施工協会 『JCMA重機部』部長
施工技術総合研究所 主任研究員 田中 一博 …………… 15

● お知らせ

金子眞紀子神奈川支部長(元理事・現参与)が黄綬褒章を受章 …………… 19

● 協会事業

『働き方改革について』 …………… 20

災害支援関係

災害協定締結状況 …………… 21

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈2025年10月~12月〉 …………… 22

教育研修事業

建設機械整備のスキルアップを支援！ -「eラーニング学習システム」活用のす
すめ- …………… 26

WEB講習(録画配信)のご案内 …………… 27

登録制度事業

建設機械レンタル業の信頼を支える「登録制度」と「建設機械レンタル管理士」
…………… 28

可発事業

可搬型発電機整備技術者資格 …………… 29

各委員会報告 …………… 31

共済事業

日本建機レンタル総合補償制度について …………… 34

日本建機レンタル企業年金基金についてのご案内 …………… 36

● 関係省令記事

(情報提供)公益財団法人 日本道路交通情報センターより …………… 40

● 支部だより

・北海道ブロック	倉内 広昭	ブロック長	44
・東北ブロック			
青森支部	中村 昭芳	支部長	46
秋田支部	小川 薫	支部長	47
岩手支部	佐藤 一彦	支部長	48
宮城支部	山本 健吉	支部長	49
山形支部	小野寺啓一	支部長	51
福島支部	後藤 一弘	支部長	53
・関東ブロック			
群馬支部	中川 秀敏	支部長	55
栃木支部	伊藤 義昭	事務局	57
東京支部	福山 慎一	支部長	58
神奈川支部	金子眞紀子	支部長	61
長野支部	花岡 昇	支部長	64
・中部ブロック	瀧 哲也	ブロック長	65
・北陸ブロック	川下 五継	ブロック長	67
新潟支部	神田 美好	支部長	69
・関西ブロック	姫野 康通	ブロック長	71
大阪支部	姫野 康通	支部長	71
兵庫支部	吉江 雅彦	支部長	72
和歌山支部	角口 孝幸	支部長	73
京都支部	村上京太郎	支部長	75
滋賀支部	蔭山 啓介	支部長	75
・中国ブロック	日笠 保彦	ブロック長	76
・四国ブロック	門田 徹也	ブロック長	78
・九州ブロック	峰平 国生	ブロック長	80
・沖縄ブロック	佐久本嘉幸	ブロック長	82

● 休憩室

オムライスの起源は？	83
------------	----

● 協会役員名簿（令和7年度）

協会支部一覧	92
--------	----

● 編集後記

	93
--	----

会長挨拶

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

会長（代表理事） **倉内 広昭**



平素より当協会の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の建設機械レンタル業界を取り巻く環境は、今まさに大きな転換期を迎えています。生産性向上に向けたi-Constructionの深化、そしてAIやIoTを駆使した建機管理の高度化は、もはや「未来の話」ではなく、建設機械レンタル業が日々直面する「現実の課題」となりました。そのような中、持続可能な経営が問われています。頻発する自然災害に対する国土強靱化への対応や、老朽化するインフラのメンテナンスなど、我々建設機械レンタル業が果たすべき社会的責任は、かつてないほど高まってきております。建設需要が高まる中、環境規制の強化やデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展により、業界全体には多様化したニーズに応えるべく迅速かつ柔軟な対応が求められています。私たち建設機械レンタル業者は、安全で効率的な施工をサポートするため、高品質な機械とサービスの提供を心掛けていかななくてはなりません。我々の使命は、単に機械を貸し出すことにとどまらず、現場の省人化を支え、安全を担保し、最新技術を現場へ届ける「架け橋」であると自負しております。少子高齢化による人手不足が深刻化する中、レンタル機械の果たす役割はより一層重くなっていくでしょう。また、災害の激甚化・頻発化が続く中、建設機械レンタル業界に寄せられる期待と責任は、かつてないほど高まっています。地震や豪雨といった非常事態において、迅速に資機材を供給し、復旧・復興を支える。これは、我々が地域社会に対して果たすべき「安全保障」の一翼を担っていると言っても過言ではありません。日頃からの整備点検の徹底と、自治体等との連携強化は、我々の存在意義そのものと言えましょう。一方で、平時における「働き方改革」の推進も急務です。効率的な物流網の構築や、ICT活用による業務改善を進め、健全な経営基盤を確立することが、結果として強靱な供給体制の維持に繋がります。人材不足や長時間労働の是正などの課題を真摯に受け止め、「働き方改革」にも積極的に取り組んでおります。2023年から第2、第4土曜日の閉所、社員の4週8休を推進しており、今年以降もさらに進めていく予定です。「現場があるところにレンタルあり」。この自負を胸に、会員一丸となって地域社会に貢献してまいります。

協会としては、これらの課題にしっかりと向き合い、業界全体の底上げを図るべく、積極的な情報提供と技術支援を推進し、技術革新とともに成長し続ける協会を目指し、会員の皆様と共に取り組んでいく所存です。

当協会では、業界の資質の向上を図るため、『建設機械レンタル管理士資格制度』、『建設機械レンタル業者登録制度』、『可搬形発電機整備技術者資格制度』の3つの資格制度のさらなる充実、また、教育事業では、昨年もおこないました油圧装置の基礎知識、電気の基礎知識、建設機械整備技能検定事前講習1級・2級(eラーニング)に加え、今年度は、『価格転嫁に向けた対応策』のWEBセミナーを実施し、多くの会員の方々にご好評をいただきました。今後もメニューの拡充を図り、

社員教育に役立てていただく所存です。さらに業界の景況感や短期動向を知るための『建設機械レンタル業地域業況調査(WEB)』や四半期に1回調査を実施し、レンタル業の実態を把握するための『建設機械レンタル業経営アンケート(WEB)』についても年1回実施し、結果を公表しております。業界の実態を把握するための重要な調査であり、関係行政機関への情報提供も実施しております。

また、国土交通省が一昨年4月に発表した「i-Construction2.0」についても、協会として推進し、国土交通省をはじめ、関係省庁との意見交換会等を通じて、業界内外との連携を図り、建設現場の更なる生産性の向上に努めてまいります。

「所有から利用へ」というレンタルビジネスの本質は、資源の有効活用という観点から、まさに循環型社会(サーキュラーエコノミー)の先駆けと言えます。私たちは、環境負荷低減を実現する最新鋭の機械を提供することで、社会インフラの整備と環境保全の両立をリードしていく責務があります。変化を恐れず、新たな価値を創造し続ける。その積み重ねこそが、建設機械レンタル業界の揺るぎない信頼を築くものと確信しております。現在、世界的な潮流である「カーボンニュートラル」への対応は、我が業界においても避けて通れない命題です。電動建機の普及や水素エネルギーの活用など、グリーン・トランスフォーメーション(GX)への期待が高まっています。

これからも、『カーボンニュートラルの達成』、『i-Construction2.0の推進』、『各種災害への適切な対応』、『SDGs(持続可能な開発目標)への取組』等の課題についても各行政機関との意見交換・情報交換等を積極的に実施してまいりたいと思っております。

私たち業界も長年の課題として取り組んでおります価格転嫁とレンタル料金の正常化について、昨年6月には国土交通省より団体の長に向け、価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組みとして要請が出ております。その内容を見ると、価格転嫁・取引適正化を社会全体で進めるためには、幅広い業界で同時並行的に発注者となる企業が中核となる事業に関する取引のみならず、受注者との取引全般における適正取引を行うことが必要であるとしています。更に建設工事については「通常必要と認められる原価に満たない金額を請負い代金の額とする請負契約を締結してはならない」など、下請法の対象取引において、下請け事業者の責に帰すべき理由がないのに一方的な代金を決定したり、下請け代金の額を減ずること等々も禁止しております。又、「無償サービスの提供要請」「手数料負担の押し付け」「メリットの不明確な協賛金・公費等の徴収」「根拠・説明なき代金の減額」「代金支払いに伴う手数料等の受注者負担」など、受注者の利益を損ね、価格転嫁を阻害する商慣習を見直すべきと明文化されております。

私たちはこうした課題に正面から向き合い、業者間の強固な関係構築と組織的な協業関係をしっかりと確保出来る様、歩を進めて参りたいと考えております。

結びとなりますが、業界のさらなる発展と皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。今後とも当協会にご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2026(令和8)年 新年賀詞交歓会を開催

2026(令和8)年1月23日(金)第一ホテル両国(東京都墨田区)にて、当協会賀詞交歓会が開催されました。国土交通省 大臣官房審議官 小島 優 様をはじめ、他国土交通省、経済産業省、東京消防庁、関係団体等のご来賓の皆様にご臨席を賜り、総勢約150名の参加で開催されました。なお、当協会特別顧問・自由民主党参議院議員 鶴保庸介先生もご臨席の予定でしたが、ちょうど衆議院解散の日と重なり、ご多忙のため、やむなくご欠席となりました。冒頭、倉内広昭会長より、「北海道から沖縄までいろいろと事情は異なるが、会員の皆様が事業を拡大し、各社社員の方がより良い生活をできるような業界にしていきたい。また、デジタル新技術について、建設DXやカーボンニュートラル実現に向けた取り組み、i-Construction 2.0等、業界としてなお一層推進していかなければならない。」との挨拶がありました。また、国土交通省 大臣官房審議官 小島 優 様からは、「国交省では、経済活動を支えるインフラの維持管理、メンテナンスといったことについて、継続的に研究し、実践している。また、公共事業の関係費については、予算の確保に努めており、災害対応についても建機レンタル業の皆さんの力が大きいので、今後も引き続きご協力をお願いしたい。」とのお言葉をいただきました。その後、佐久本嘉幸副会長の乾杯の発声の後、歓談に移り、最後に小松崎伸一郎副会長の中締めで閉会となりました。本年がさらなる飛躍の年となることを祈念しての開催となりました。



倉内 広昭 会長 挨拶



国土交通省 大臣官房審議官 小島 優 様



賀詞交歓会会場の様子

建設機械施工のDX・GXにおける 国土交通省の取組み

国土交通省

大臣官房 参事官（イノベーション）グループ 施工企画室

1. はじめに

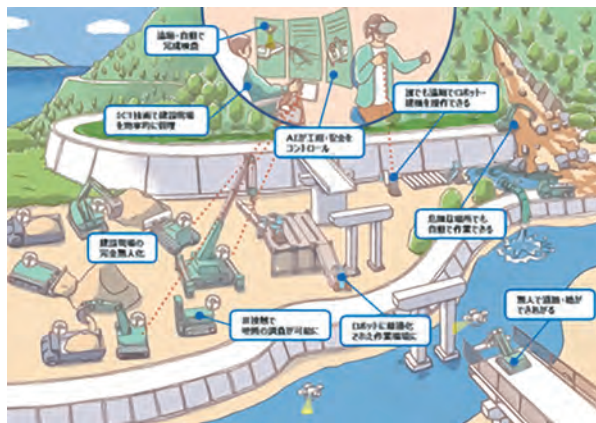
建設産業は国土の安全・安心の確保や人流・物流を支える不可欠な産業ですが、生産年齢人口の減少や高齢化の進行により、特に地方において暮らしを支える機能の低下が懸念されています。さらに、気候変動による災害の激甚化や、老朽化するインフラへの対応など、社会資本整備を取り巻く環境は一層厳しくなる見込みです。このような状況下で必要なサービスを将来にわたり安定的に提供するためには、デジタル技術やデータ活用により、少人数で従来以上の業務を遂行できるよう、建設産業の働き方を革新する必要があります。また、建設機械の使用に伴うCO₂排出削減に向け、国土交通省は燃費性能を評価する制度を創設し、ハイブリッド建設機械や電動建設機械の開発を促進してきました。今後も施工分野におけるカーボンニュートラルの達成に向け、取組を一層強化・加速します。本稿では、こうした背景を踏まえ、国土交通省の建設機械施工におけるDX・GXの取組を紹介します。

2. 建設機械施工のDX

2.1 i-Construction2.0

国土交通省では、建設現場の生産性向上に向けた取組として、2016年より、ICT施工をはじめとする「i-Construction」を推進してきました。さらに2024年には、i-Constructionの取組を深化させ、更なる抜本的な建設現場の省人化対策として「i-Construction 2.0」を策定しました。

図1 i-Construction2.0で実現を目指す社会(イメージ)



i-Construction2.0では、建設現場のオートメーション化に向けて3つのトップランナー施策を推進することにより、生産年齢人口が約2割減少すると予測されている2040年度までに、建設現場において、少なくとも省人化3割、すなわち1.5倍の生産性向上を実現することを目指しています。

加えて、安全確保、働き方改革や多様な人材の確保、新3K(給与がよく、休暇が取れ、希望がもてる)の建設現場の実現を通じて、建設現場で働く一人ひとりの生産性や付加価値を向上することを目標としています。これにより、建設産業が賃金や休暇などの就労環境の観点からも魅力ある産業となり、国民生活や経済活動の基盤となるインフラを将来にわたり維持、確保していくことを目指しています。

2.2 フィジカルAI

近年、ロボットや機械の制御にAIを活用する「フィジカルAI」について、物流分野をはじめとする他産業において実装・導入に向けた取組が進められ、省人化や自律的な作業の実現に向けた活用が広がりつつあります。フィジカルAIは、実際の身体(ロボットや機械)を持ち、現実世界の環境下で学習・判断・行動を行うAIであり、従来のような細かな数値設定を不要とし、機械が自律的に判断できる点が特徴です。一方、建設現場では日々変化する現場条件や多様な作業特性への適応力が求められることから、フィジカルAIの活用については、現時点では検討の初期段階にあります。このため、国土交通省では本年より直轄工事での実証等を開始し、建設現場へのフィジカルAIの円滑な導入を目指します。

2.3 建設機械位置情報等の集約活用

災害発生時、迅速な復旧作業等には、被災地周辺で稼働可能な建設機械の有無や稼働状況を迅速に把握することが不可欠です。近年、建設機械メーカーは自社機械の位置情報や稼働情報

を収集するテレマティクス技術の標準搭載や技術開発を進めており、大規模災害時に各社が保有するテレマティクスデータを提供・収集する協定を締結し、令和7年6月から試行を行っています。本試行では、建設機械メーカー4社の建設機械をデータ提供主体とし、事前に同意を得た建設会社(約1,800社)が保有する建設機械を対象としています。試行の結果を踏まえ、今後の本格導入に向け取組の改善を図るところです。被災現場へ早期に投入可能な建設機械を迅速に把握できる体制の構築に向け、レンタル会社を含めた参画企業の拡大等を図りながら、災害対応力の一層の強化を図ってまいります。

2.4 インフラ施設管理へのAI活用

排水機場等のインフラ施設は、設備の老朽化、人口減少に伴う点検作業に従事する専門技術者等の減少といった社会課題を背景に、施設の維持管理の高度化が喫緊の課題となっています。このような状況の中、AIの活用により排水機場等の非常用設備に関する劣化傾向を正確かつ迅速に把握し、機能喪失の防止や適切な維持管理体制の確保を目的にAIモニタリングシステムの研究開発に着手したところです。AIモニタリングシステムの研究開発や社会実装には、普及体制及び継続的な研究開発体制の構築が必要であることから、法人会員、関係業界団体、研究機関、行政機関および学識者からなる分野横断的な産官学連携による取組を進めています。

2.5 遠隔施工の普及推進

災害対応時等の二次災害が懸念される危険作業では、オペレーターが建設機械に搭乗せずに遠隔操作を行う「遠隔施工」を実施してきました。今後は、生産性向上と安全・快適な作業環境の実現に向け、通常工事への普及も推進していきます。一方、ウクライナでは膨大な建設需要が見込まれる中、人手不足が深刻化しています。こうした状況を踏まえ、国土交通省では、

日本で培った遠隔施工技術を活用し、誰もが安全な環境から機械を操作できる体制を目指しています。国土交通省は昨年、官民合同で現地に渡航し、国連機関や政府関係者を対象に技術実証を兼ねたデモンストレーションを実施した結果、参加者からはウクライナ復興事業への導入に大きな期待が寄せられたところです。

3. 建設機械施工のGX

世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加するなど、気候変動問題への対応は人類共通の課題です。2020年のG20サミットにおいて、日本は2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国際公約を掲げました。建設機械の稼働により排出されるCO₂は、国内産業部門の約1.7%を占めており、建設機械施工分野においても、この国際公約の達成に向けて着実に取り組む必要があります。

国土交通省では、近年の品確法の改正や地球温暖化対策計画等政府計画の改定を踏まえ、国土交通省が発注する土木工事において、脱炭素化に先進的に取り組むことで、建設現場全体の取組をけん引することを目的として、CO₂排出の過程に応じたリーディング施策のロードマップを定めたアクションプランを策定しました。

本アクションプランでは、3つのリーディング施策(①建設機械の脱炭素化 ②コンクリートの脱炭素化 ③その他建設技術の脱炭素化)を定めて推進していくこととしております。特に建設機械の脱炭素化では、燃費性能の向上や電動化によるエネルギー効率の向上、次世代燃料の活用を促進するとともに、ICT施工や建設現場のデジタル化・見える化、チルトロータ等新たな施工技術の活用による施工の効率化を図ります。

さらに、令和5年には「GX建設機械認定制度」を創設し、令和8年1月時点では、電動油圧ショベル、電動ホイールローダ、電動ホイールクレーンを認定対象機種として、計23型式を認定しています。加えて、経済産業省および環境

省と連携し、これらの認定型式を導入する事業者に対して、建設機械や充電設備の購入経費の一部を補助する制度(商用車等の電動化促進事業(建設機械))も令和6年度から開始しました。このように、建設機械施工分野におけるGXに向けた環境整備を着実に進めています。

4. おわりに

建設施工分野におけるDXによる生産性向上やGXによる地球温暖化対策は、国内の状況や国際的な情勢を踏まえると、待ったなしの課題です。

今回ご紹介した建設機械施工のDX・GXをはじめとする建設施工行政については、産学官で連携し、現場と一体的に進めていくことが重要と認識しております。

国土交通省としては、建設機械施工分野におけるDX・GXの推進に引き続き取り組んでまいります。これまで新技術の社会実装に多大なる貢献を頂いている貴協会や建設機械レンタル業の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

建設分野の 特定技能外国人の 受入れと サポートについて

(一社) 建設技能人材機構 (JAC)

1. はじめに

2018年の改正出入国管理法により、在留資格「特定技能」が創設されました。JACでは建設分野における特定技能外国人の適切かつ円滑な受け入れの観点から、特定技能1号・2号評価試験、適正就労監理等に取り組んできました。

建設分野の特定技能外国人は、2025年6月末の出入国在留管理庁の公表では、1号特定技能外国人が43,599人、2号特定技能外国人は561人と着実に増加してきています。

■建設分野の特定技能外国人の受入れについて

(1) JACについて

建設業は、1993年からの在留資格「技能実習」制度において、他産業と比べて多くの失踪者や労働法令違反を出したことの反省に立ち「特定技能」制度においては、建設業界として賃金や社会保険、安全衛生のルールをしっかりと整備して、ルールを守らない企業を排除していく必要があります。専門工事業団体と元請建設業団

体により、一般社団法人としてJACを設立しました。

(2) 特定技能外国人になるルート

特定技能外国人になるルートは次の2つがあります。

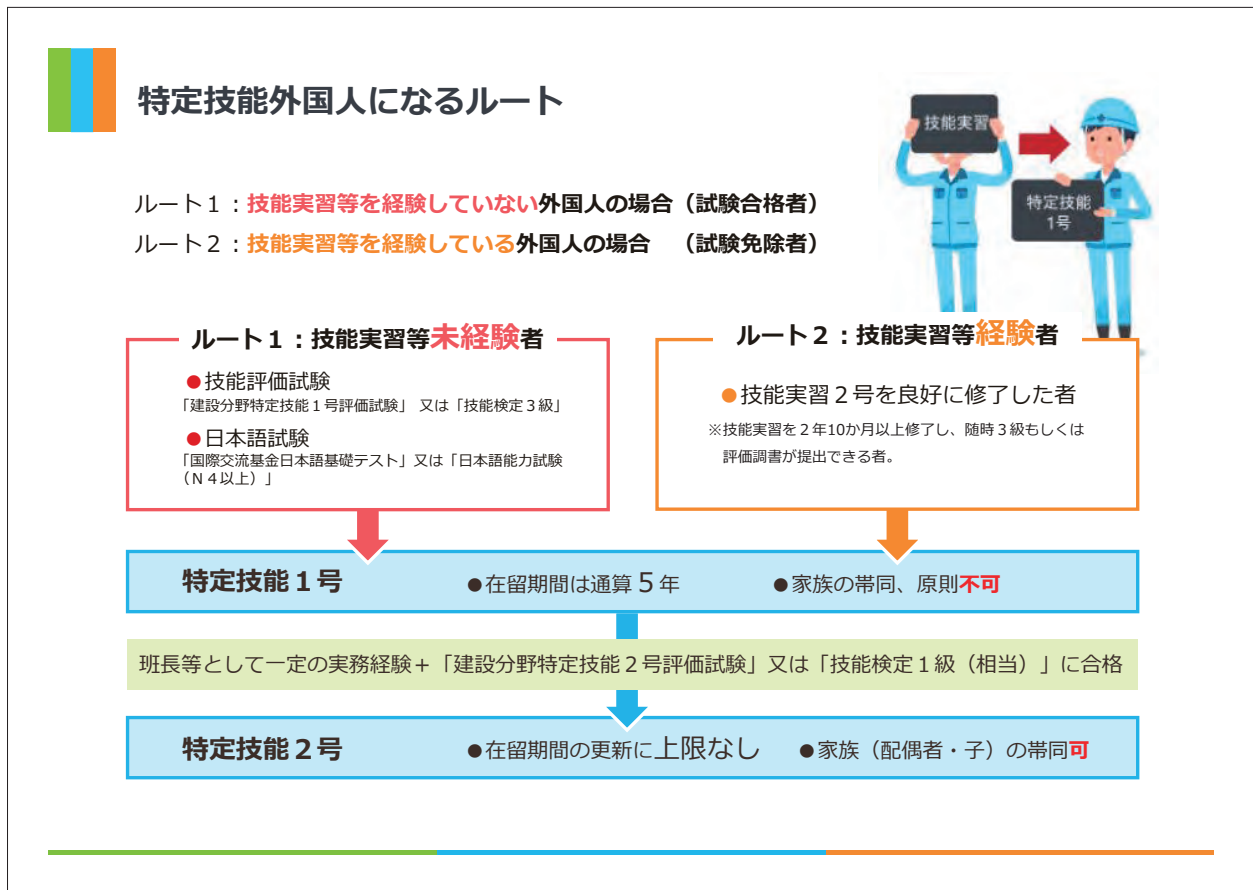
(資料1) 特定技能外国人になるルート

(3) 受入負担金の負担

受入企業の皆様には、1号特定技能外国人1名につき毎月12,500円の受入負担金を負担いただく仕組みとなっています。なお、これを直接的又は間接的を問わず、1号特定技能外国人に負担させてはいけません。

この受入負担金は、JACが実施する「技能評価試験」や「受入支援サービス」である、オンライン特別教育・技能講習、日本語講座、一時帰国支援制度、CCUS手数料支援制度、資格取得等奨励金制度、補償制度、巡回指導・母国語相談ホットライン業務など、共同事業に充

(資料1) 特定技能外国人になるルート



てられます。

このような外国人材のスキルアップ支援や働きやすい職場環境づくりへの支援を通じて、外国人材から選ばれる日本の建設産業のために活用されています。

(4) 在留資格「技能実習」と「特定技能」の違いについて

・技能実習

我が国の技能、技術又は知識を開発途上国等へ移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としています。

・特定技能

相当程度の知識又は経験を有する外国人労働者を、我が国の人手不足が深刻な特定産業分野（建設、介護、製造、農業等の16分野）に受け入れることを目的としています。

■建設分野特定技能1号評価試験情報

特定技能1号技能評価試験は業務区分【土木】、業務区分【建築】、業務区分【ライフライン・設備】の3つの試験区分に分かれています。試験は、学科試験と実技試験で構成され、CBT試験（コンピュータを使った試験方式）で実施します。

日本国内における建設分野特定技能評価試験は、2025年12月より、全国95箇所のプロメトリックテストセンターでの実施に変わりました。これまでより毎月、近くの会場での受験が可能となりました。

※建設機械の保守・管理業務に従事する場合は、試験区分は「土木」です。

■受入れ支援サービス

○無料の日本語講座を開講

1号特定技能外国人やその受入企業の技能実習生向けに無料の日本語講座を開講しています。この講座は、オンラインや対面で行われ、

レベルに合わせた様々なコースを用意しております。

○無料母国語安全衛生教育(特別教育・技能講習)

1号特定技能外国人やその受入企業の技能実習生向けに無料の母国語での安全衛生教育を開始しています。

科目や言語については、会員団体へのアンケート調査を実施し、ニーズの高いものからご用意しております。

教材は建設業労働災害防止協会等のテキストを母国語に翻訳したもの等を用い、登録教習機関に講習を委託して実施しています。

○特定技能外国人一時帰国支援

母国にいる家族に会うため、長期休暇を利用した心身リフレッシュのため、身内に不幸があった場合など、特定技能外国人が母国へ一時帰国する際にかかる費用を、JACが一定額支援しています。

2025年4月1日以降に一時帰国後、同一受入企業で就労を継続している特定技能外国人に対して、2回に限り、1人8万円を支援しています。

○CCUS手数料支援

国土交通省から受入計画の認定を受ける際に、「受入れ企業及び1号特定技能外国人の建設キャリアアップシステム(CCUS)への登録」が義務付けられています。JACは、受入企業の負担を軽減するため、2023年度手数料から対象にCCUSの管理者IDの年間利用料11,400円を全額支援しています。また、特定技能外国人がCCUSの能力評価を受ける際の手数料4,000円も全額支援しています。

○資格取得等奨励金制度

インセンティブを付与することで、資格取得やキャリアアップを促すのを目的に、2025年

10月1日から申請の受け付けを開始しています。

建設分野特定技能2号評価試験、技能検定1級、技能検定単一等級のいずれかに合格した場合、対象の特定技能外国人と受入企業それぞれに10万円を支給するものです。

また公平性の観点から、2019年4月1日以降に建設分野特定技能2号評価試験、技能検定1級、技能検定単一等級のいずれかに合格した方まで、遡って適用します。

○特定技能外国人補償制度

JACが損害保険会社と契約を結び、1号特定技能外国人の政府労災保険で給付対象となる業務災害(死亡、後遺障害、疾病もしくは負傷)の被害にあった場合には、政府労災保険による補償給付の上乗せ補償を行うものです。

これらの取り組みについての詳細については、Webサイトをご覧ください。

 建設技能人材機構 で検索

(資料2)受入れ支援サービス

4. おわりに

JACでは、外国人材の獲得競争が益々激化していく中、建設分野における優秀な外国人材の受け入れ増への貢献の観点から、今後とも、特定技能外国人が我が国の建設業界において中長期的に活躍できるキャリアパスの構築支援や働きやすい職場環境づくりなどに取り組んでまいります。今後の国における外国人受入政策等様々な状況等を踏まえ、適宜、見直し・改善等に取り組んでまいります。読者の皆様方には、是非、JACの取り組みについてのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本稿をご一読賜りまして、誠にありがとうございました。

特定技能外国人を雇用している企業様へ

受入支援サービス

JACでは外国人の方々为建设業界において活躍できるよう、お役立ち支援を行っております。無料の安全衛生教育や日本語講座をはじめ、受入れに関する各種費用の支援など、コスト削減につながるサービスもご用意しております。

※1号特定技能外国人の受入負担金のお支払い実績がある建設企業で就労中の「在留資格:特定技能1号」の外国人(技能実習生を含む。)

オンライン特別教育・技能講習



受入企業の技能実習生も対象

受講無料!母国語対応!
**オンライン特別教育
と技能講習**



オンライン特別教育についてのお問合せ → **0120-36-5378**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 8時30分～17時00分

日本語講座

受入企業の技能実習生も対象



母国語で学ぶ日本語講座を拡充!
**合格のための日本語講座や
スマホアプリ(e-Learning)**
などご用意!



日本語講座についてのお問合せ → **0120-220353**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 9時00分～17時30分

特定技能外国人一時帰国支援制度

2号特定技能外国人も対象



特定技能外国人
1人8万円2回まで
を支援



一時帰国支援についてのお問合せ → **0120-056-045**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 9時00分～17時30分

CCUS手数料支援制度

令和5年度手数料から対象



CCUS手数料の
全額支援申請
はこちら!



CCUS手数料支援についてのお問合せ → **0120-220353**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 9時00分～17時30分

資格取得等奨励金制度

2019年4月1日以降が対象



特定技能外国人と
受入企業それぞれに
10万円を支援



資格取得等奨励金制度に関する問合せ → **0120-207056**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 9時00分～17時30分

特定技能外国人補償制度

全ての受入企業が補償制度の対象



万が一のときに。
無料で使える
政府労災上乗せ補償

規程・補償制度についてのお問合せ → **0120-514-049**
月～金(土日祝日・年末年始除く) 9時00分～17時30分

全建・全中建・日建連の元請業者さま向け

CCUS活用促進

- CCUS事業者登録料(更新料も含む)
- CCUS管理者ID利用料
- 現場利用料(タッチ費用)
- ICカードリーダー等機器購入費用



建設業界への入職促進へ JCMA重機部の取り組み

一般社団法人 日本建設機械施工協会

『JCMA重機部』部長
施工技術総合研究所 主任研究員
田中 一博

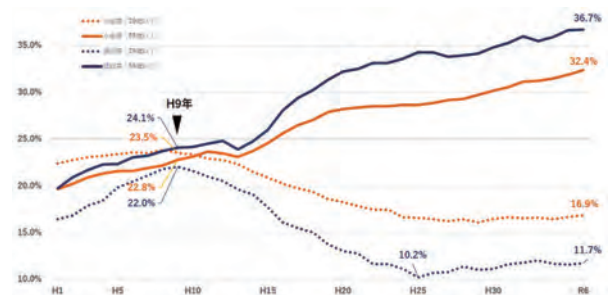
1. はじめに

建設業界は現在、建設投資と許可業者数・就業者数の減少に見舞われ、就業者数などが大きく落ち込んでいる。建設投資額はピーク時の1992(H4)年度に約84兆円あったものが、2010(H22)年度には約42兆円と半数まで落ち込んだ。その後、増加に転じ2024(R6)年度は約73兆円(建築補修15兆円含む)程度となっている。

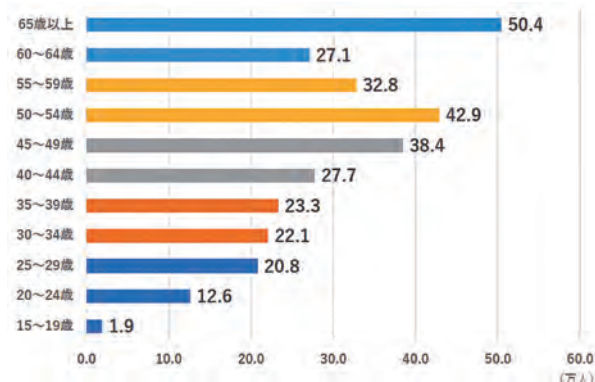
一方で、建設業者数は、2024(R6)年度末に約48万業者(うち大臣許可約1万業者)で、ピーク時である1999(H11)年度末から約20%減となった。建設業就業者数を見ると2024(R6)年平均は477万人で、ピーク時の1997(H9)年平均から約30%減という状況だ。

就業者数の年齢別の内訳をみると、55歳以上が36.7%、29歳以下が11.7%と高齢化が進行し、次世代への技術承継が大きな課題となっている。全産業との比較では、55歳以上が4.3ポイント高く、29歳以下で5.2ポイント低い数字となっていて、これは俗にいう「ワニの口」

という現象だ。



年齢階層別に見ても、60歳以上の技能者は全体の約4分の1を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれる。これからの建設業を支える29歳以下の割合は全体の約12%程度で、若年入職者の確保・育成が喫緊の課題となっている。



人口減少のさなか、すべての産業で担い手不足が顕著になっているが、とくに地域建設業は、インフラの維持・管理、除雪、除草、災害復旧などで、なくてはならない産業であり、入職促進にあらゆる手段が必要となる。

2. 課題解決に向けた部活動

国土交通省もこの課題には対応を進めている。2016年度から始まったi-Construction政策では、生産性向上の目標のために、ICTツールの活用を掲げているほか、賃金水準の引き上げ、週休2日制の推進も進めている。

「一般社団法人日本建設機械施工協会(JCMA)」でも、ささやかながら『JCMA重機部』という取り組みで、若年層に対して建設業界の魅力を伝えている。

『JCMA重機部』は、建設機械施工の研究・普及活動を行っているJCMAの公式部活動という位置づけだ。



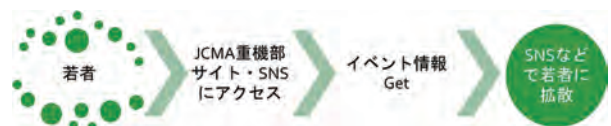
JCMAの会員は、重機メーカーだけでなく、地域建設業や広域レンタル会社、測量機器メーカーなど、多くの業界で構成している。このプロ集団が建設業界の魅力を伝え、「重機好き」をバックアップする活動が『JCMA重機部』だ。

高校生や大学生の中には、重機が好きな方が一定程度存在する。SNSなどで重機の写真や建設現場で動いている重機の動画をアップロー

ドしている人が簡単に検索できる。また最近では動画投稿が手軽になり、多くの現役オペレーターが現場での重機の運転技術などを解説するものも存在する。中にはインフルエンサーと呼ばれる人気インスタグラムを運営する人も多い。

しかし、本物の重機に触れたり、乗ったりする機会がどこにあるのかという情報を得る手段が少なく、若い人自身が大きな手間をかけないと情報を集められない状況だ。一方で、JCMA会員企業も、リクルーティングやインターンシップを行うためにイベントを企画したり情報発信をしているが、若者と直接コンタクトを取る手段がわからなかったり、見学会の広報の仕方がわからないという企業も多い。

そこでJCMA本部では、両者をつなぐプラットフォームとして『JCMA重機部』を立ち上げることにした。JCMA重機部加盟の企業・団体が見学会などのイベント情報を、JCMAの重機部サイトや重機部SNSでまとめて配信している。参加希望者は、イベント情報をまとめて入手でき、SNSでの拡散も可能になる。



具体的には、メーカー、レンタル会社などの工場見学会、現場見学会、最新のICTやめずらしい建機などの活用現場見学会等の情報共有を行っている。

3. これまでの活動

今年度から本格的に活動を開始しているが、具体的な活動例をここに紹介する。

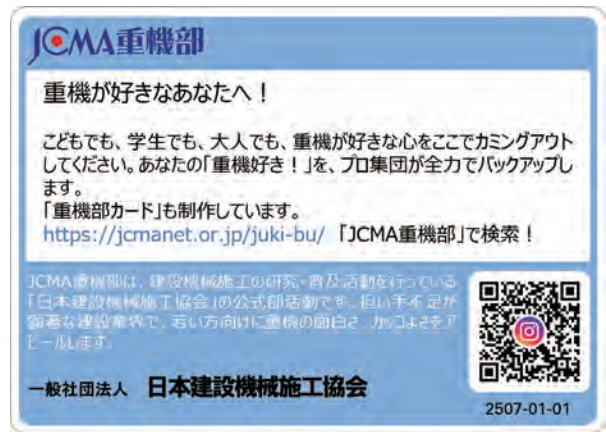
今年6月に千葉県の実浜幕張にある幕張メッセで「国際 建設・測量展」が開かれた。このイベントは、建設業界では国内最大の展示会となっており、出展社数400社、来場者5万7000人を超える。『JCMA重機部』では、このイベントに合わせて、「重機部カードイベント」を

開いた。

重機部カードは、国土交通省が配布しているダムカードにヒントを得たもので、建機メーカーやアタッチメントメーカーなどに協力してもらい、各社の製品ごとに1枚のカードを作成し、会場でデジタルデータとして配布した。



今回は13社が協力していただき、CSPIの各社ブース受付に掲示してある2次元バーコードをスキャンすると、スマートフォン上で重機部カードの画像がダウンロードできる。また重機部の紹介用に特別カードをデザインし、リアルカードとして配布を行っている。



一般社団法人日本建設機械工業会が、11月19日を「建設機械の日」として記念日制定したことを受け、コラボイベントとして、建設機械の日ロゴを追加した重機部カードの配布も行った。

4. 学園祭や企業イベントとのコラボ

令和7年の9月13日(土)、14日(日)、新潟県長岡市の長岡技術科学大学の大学祭(技大祭)において、『JCMA重機部』が初めてのブース出展を行った。毎年4000人が訪れる大学祭の教室を利用して、重機の1/50ミニチュア、マシンガイダンス(MG)機能を備えた建機シミュレーターを展示し、小中大学生向けに重機の魅力を伝えた。とくにシミュレーターの人気が高く、5歳くらいの児童たちが30分以上も操作をし続ける場面も多かった。子供を連れてきた親からは「油圧ショベルがこんなに動くとは思わなかった。建設業の見方も変わった」というコメントが寄せられた。



続いて令和7年11月28日(金)から30日(日)までの3日間、大阪市の森ノ宮で、西尾レントオールが主催する『新しい建機展2025』が開かれた。この催しは未来を担う子供、若者たちを対象に、建設業の魅力を体験できるテーマパークイベント。建設機械の遠隔操作体験、チルトローテータを使った巨大な砂アート、オペレーター選手権などで構成され、一般的な企業向けのイベントではなく、一般の人を対象にした建設業のショーケースなのがポイント。



このイベントについても、『JCMA重機部』として、大量の1/50ミニチュア展示と、シミュレーターの展示を行った。長岡技術科学大学の時とは異なり、JCMAから会員企業に対して協力を要請し、日本キャタピラー、コベルコ建機、クボタ、日立建機日本、リープヘルジャパンなどから提供された17点もの精巧なミニチュアを展示した。

また公式インスタグラムも立ち上げ、重機部の取り組みを広報する仕組みも運用している。原稿執筆時点のフォロワー数は241人。

インスタグラムのURLは「<https://www.instagram.com/jcmajukibu/>」。



次回以降のイベントでは、リモコンの1/20

ダイカストモデルの油圧ショベルとアーティキュレートダンプによる遠隔施工体験を計画している。

5. 最後に

建設業界の担い手不足解消に向けた取り組みは厳しく多難だが、何もしないままでは漸減するのみとなる。会員各社の持てる力と取り組みをJCMAとして束ねて、少しでも建設業界をめざす若者を増やすことが、将来の建設業界にとって必要なことだと感じている。

レンタル協会様においても、JCMAとの協会の壁を超えて協力関係を築き、明るい建設業界に向かっていければと思う。

(了)

金子眞紀子神奈川支部長(元理事・現参与)が黄綬褒章を受章

令和7年建設事業関係功労ならびに団体事業功労者として、令和7年秋の褒章で当協会の金子眞紀子神奈川支部長(元理事・現参与)が『多年にわたり、建設機械事業の業務に精励するとともに、関係団体の役員として、業界の発展に寄与した功績』により、黄綬褒章を受章されました。金子氏は、当協会では、理事・監事の他、長年、神奈川支部長を兼務され、業界の発展に多大な貢献をされてきたことが評価されました。

なお、今回の国土交通省関係の褒章受章者は、藍綬褒章5名、黄綬褒章96名、緑綬褒章3名・8団体、合計104名・8団体で、去る令和7年11月21日(金)に国土交通省10階共用大会議室において伝達式が行われ、その後、皇居にて拝謁式が執り行われました。



(受章者 金子眞紀子氏(左)と御子息(金子機械㈱代表取締役社長 金子直樹氏(右))

『働き方改革について』

2025年度は「働き方改革」として第2・第4土曜日の閉所、4休8休の実現に向けてポスターの作成などの活動を行いました。その結果、4週6休の取組みは大きく改善し、実践できております。また、今年度は、下記ポスターを作成し、広報いたしました。今後も会員各社のご協力をお願いいたします。

一般社団法人
日本建設機械レンタル協会
Japan Construction Machinery Rental Association

“ワークライフ
バランス”
の実践を!

JCRAの働き方改革

2025
年度の目標

週休2日(4週8休)

実施率
100%

を目指します!

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure and Transport

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

● 災害支援関係 ●

災害協定締結状況

当協会では、災害発生時における協定を各自治体や団体等と締結しています。災害復旧や応急対策事業等の支援活動に積極的に取り組んでいます。

2025年、2026年 締結した災害協定

ブロック	支部	締結期日	締結した支部等の名称	協定の相手方	協定等の名称	協定対象資機材	災害時の対応
東北	山形	2025/1/27	(一社)日本建設機械レンタル協会 東北ブロック	山形県警察	災害時における応急対策資機材のレンタルに関する協定書	災害の救出・救助活動及び災害警備活動で使用する建設機械・器具 その他、甲が指定する建設機械・器具	要請を受けたときは、要請されたレンタル機材を調達する会員名を通知するものとする。
東北	山形	2025/1/27	(一社)日本建設機械レンタル協会 東北ブロック	東北管区警察 山形県情報通信部	災害時における機材の貸借に関する協定書	発電機、仮設トイレ、暖房器具、照明器具、サイド幕付き大型集会テント、その他乙の取扱商品	要請を受けたときは、優先的な提供及び運搬に努める。
東北	宮城	2025/3/26	(一社)日本建設機械レンタル協会 東北ブロック 宮城支部	宮城県柴田郡 大河原町	災害時における応急対策資機材のレンタルに関する協定	移動式トイレ・発電機・冷暖房機器等	要請があった場合には、速やかに、保有する資機材の保有情報を確認し、甲に対して優先的かつ速やかにレンタルを行うものとする。
東北	宮城	2026/2/17	(一社)日本建設機械レンタル協会 東北ブロック	宮城県石巻市	災害時における応急対策資機材のレンタルに関する協定書	応急対策資機材	要請があった場合には、可能な限り応ずる。
関東	長野	2025/6/2	(一社)日本建設機械レンタル協会 関東ブロック 長野支部	南箕輪村	災害時における資機材レンタルの協力に関する協定書	資機材（発電機、仮設トイレ、照明機器、仮設テント、テーブル、椅子、暖房器具等）	レンタル機材の要請があったときは、可能な範囲においてレンタルを実施する。
北陸	北陸	2025/8/5	(一社)日本建設機械レンタル協会 北陸ブロック	石川県警察本部	災害時における物資の貸借に関する協定	油圧ショベル・発電機・水中ポンプ・投光器・小型汎用機器・高所作業車・仮設用機材等	レンタル機材の要請があったときは、できるだけ優先して協力する。
中国	中国	2025/3/28	(一社)日本建設機械レンタル協会 中国ブロック	国土交通省 中国地方整備局	災害時における管内の災害応急対策業務に関する協定書	資機材(油圧ショベル、車輪式トラクタ、ショベル、ダンプトラック、散水機、発電機、投光器、トイレ等)	災害時は速やかに機材の提供に協力・提供
中国	中国	2025/4/1	(一社)日本建設機械レンタル協会 中国ブロック	中国電力株式会社 地域共創本部 中国電力ネットワーク株式会社	災害時における資機材レンタルの協力に関する協定書	資機材（仮設トイレ、照明機器、エアコン、冷蔵庫、OA機器、仮設テント等）	災害時は速やかに機材の提供に協力・提供
中国	中国	2025/10/31	(一社)日本建設機械レンタル協会 中国ブロック 広島地区部会	広島県 水道広域連合 企業団	災害時におけるレンタル器材の提供に関する協定書	レンタル器材	要請があった場合、応急対策及び災害復旧等に係る建設機械等のレンタル器材の提供する
中国	中国	2026/2/5	(一社)日本建設機械レンタル協会 中国ブロック 岡山地区部会	倉敷市、 岡山県建設業協会 倉敷支部、 岡山県建設業協会 児島支部、 岡山県建設業協会 浅口支部、 岡山県建設業協会 吉備支部、 萩原工業㈱	災害時における応急処置等の実施に関する協定書	建設機械、水中ポンプ、発電機等	要請があった場合は、応急対策等を行うため、資機材の供給について協力を行う

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈2025年10月~12月〉

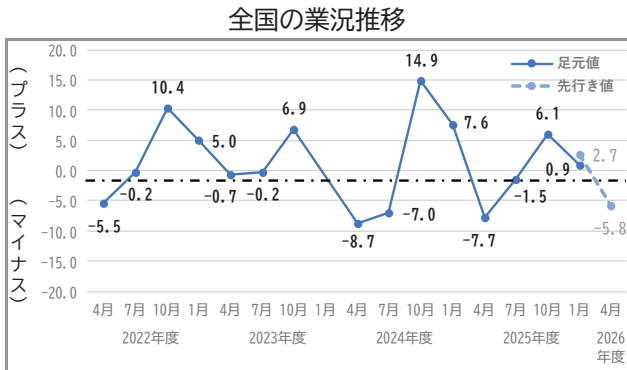
建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉結果の概要



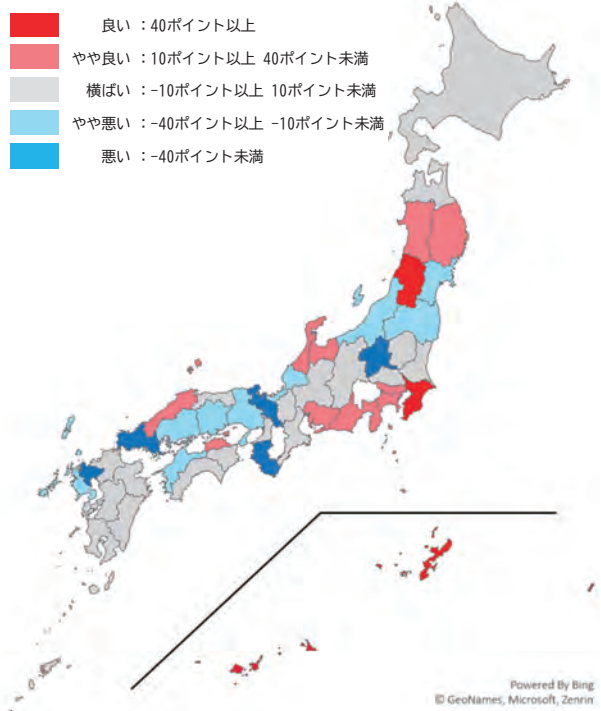
足元の業況は、10月の6.1ポイントから0.9ポイントに下降、前回調査の1月先行きからは1.8ポイント下降した。先行きの業況は、足元より6.7ポイント低い-5.8ポイントとなっている。

- 良い：40ポイント以上
- やや良い：10ポイント以上 40ポイント未満
- 横ばい：-10ポイント以上 10ポイント未満
- やや悪い：-40ポイント以上 -10ポイント未満
- 悪い：-40ポイント未満

都道府県別では、足元の業況が13の都県で「良い」「やや良い」、14の府県で「悪い」「やや悪い」という結果になった。



※2023年度1月は能登半島地震のため調査中止



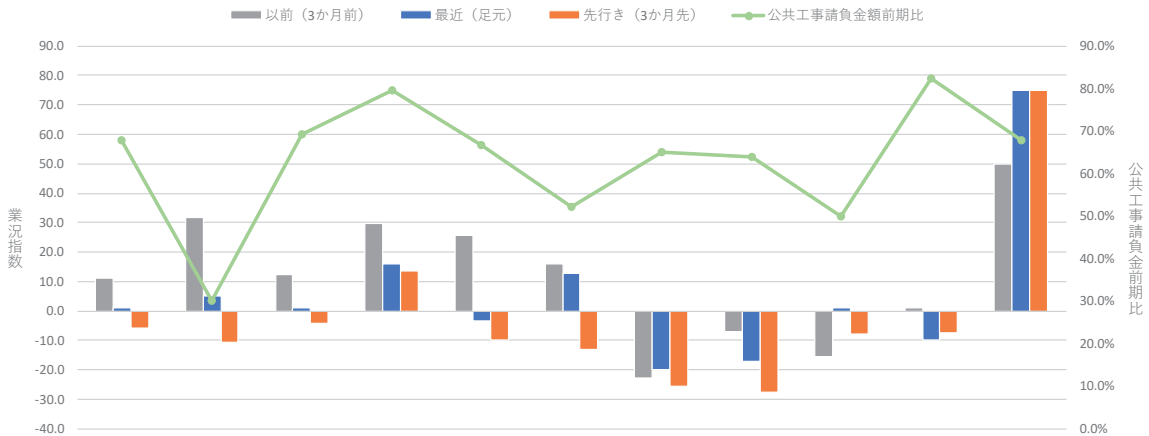
一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉 地域別



地域ブロック別の業況推移

<地域ブロック詳細>
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
 中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県



	全国	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
以前(3か月前)	11.3	31.6	12.2	29.7	25.8	16.1	-22.9	-6.9	-15.4	0.0	50.0
最近(足元)	0.9	5.3	0.0	16.2	-3.2	12.9	-20.0	-17.2	0.0	-9.8	75.0
先行き(3か月前)	-5.8	-10.5	-4.1	13.5	-9.7	-12.9	-25.7	-27.6	-7.7	-7.3	75.0
公共工事請負金額前期比	67.9%	30.0%	69.2%	79.6%	66.6%	52.3%	65.0%	64.0%	49.9%	82.4%	67.9%

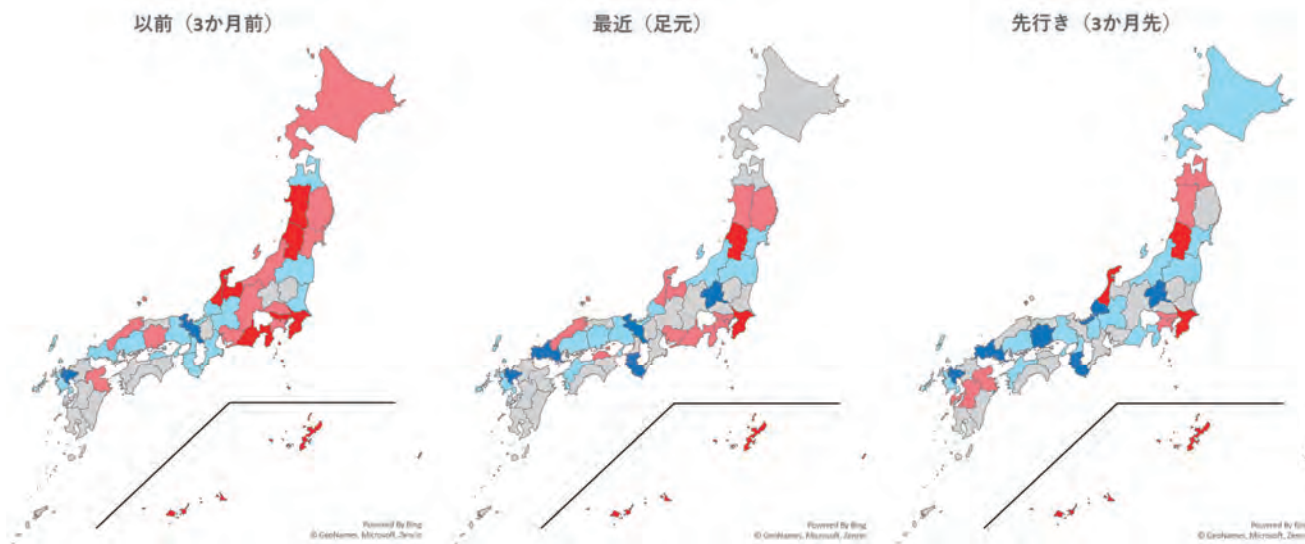
一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉都道府県別



都道府県別業況マップ

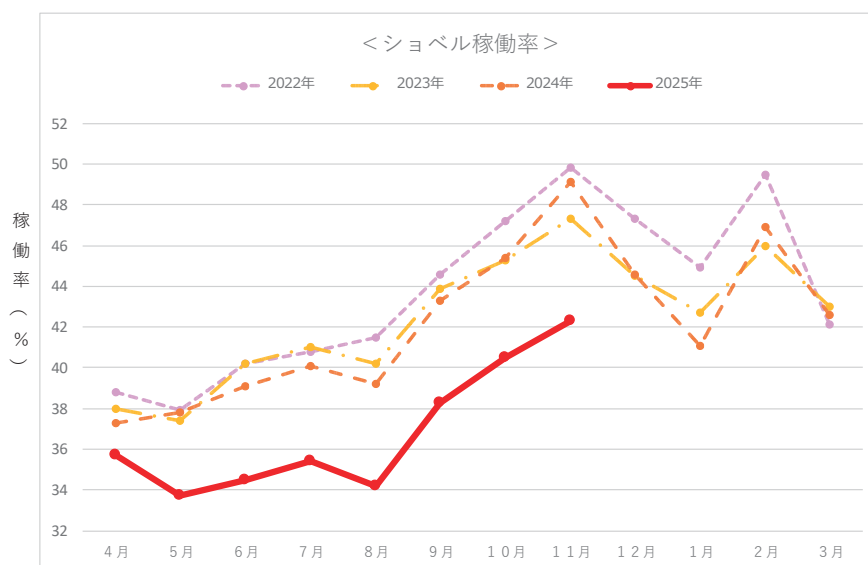
- 良い：40ポイント以上
- やや良い：10ポイント以上 40ポイント未満
- 横ばい：-10ポイント以上 10ポイント未満
- やや悪い：-40ポイント以上 -10ポイント未満
- 悪い：-40ポイント未満



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

国交省「建設機械器具レンタル業等の動態調査」結果〈11月〉JCRA

レンタル部門の主要な機材である油圧ショベルの稼働率について、4月以降、前年同月を大きく下回る水準が続いている。



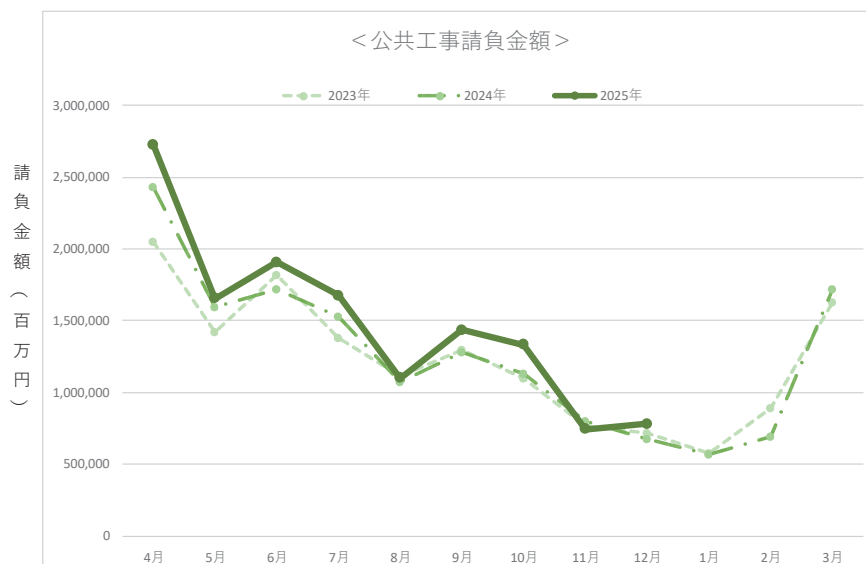
<出典：国交省「建設機械器具レンタル業等の動態調査」>

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

「公共工事前払金保証統計」結果〈12月〉



建設保証会社が合同で公表している公共工事請負金額について、3月以降、前年同月と同等か、それを上回る水準となっている。



＜出典：「公共工事前払金保証統計」＞

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉調査の概要



会員各社の事業所を対象に「以前（3か月前）」「最近（足元）」「先行き（3か月後）」の業況を「1. 良い」「2. さほど良くない」「3. 悪い」の選択肢で聴取。回答結果よりDIを算出した。

$DI = 「1. 良い」の回答社数構成百分比（\%） - 「3. 悪い」の回答社数構成百分比（\%）$

実施時期	2026年1月13日～1月20日
調査配信数	972 事業所
有効回答数	326 事業所
回答率	33.5 %

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉都道府県別回答状況



都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率	都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率	都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率	都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率
北海道	59	19	32.2%	東京都	76	23	30.3%	滋賀県	17	6	35.3%	香川県	14	8	57.1%
青森県	14	5	35.7%	神奈川県	64	11	17.2%	京都府	11	2	18.2%	愛媛県	6	3	50.0%
岩手県	14	3	21.4%	新潟県	25	11	44.0%	大阪府	57	17	29.8%	高知県	1	1	100.0%
宮城県	44	14	31.8%	富山県	13	7	53.8%	兵庫県	22	5	22.7%	福岡県	44	21	47.7%
秋田県	13	6	46.2%	石川県	22	7	31.8%	奈良県	0	0	-	佐賀県	2	1	50.0%
山形県	10	5	50.0%	福井県	12	6	50.0%	和歌山県	20	5	25.0%	長崎県	10	5	50.0%
福島県	42	16	38.1%	山梨県	0	0	-	鳥取県	8	2	25.0%	熊本県	14	6	42.9%
茨城県	20	5	25.0%	長野県	23	12	52.2%	島根県	4	3	75.0%	大分県	9	3	33.3%
栃木県	25	6	24.0%	岐阜県	5	5	100.0%	岡山県	14	6	42.9%	宮崎県	7	4	57.1%
群馬県	14	2	14.3%	静岡県	9	3	33.3%	広島県	33	14	42.4%	鹿児島県	9	1	11.1%
埼玉県	31	9	29.0%	愛知県	56	19	33.9%	山口県	11	4	36.4%	沖縄県	29	4	13.8%
千葉県	29	6	20.7%	三重県	9	4	44.4%	徳島県	1	1	100.0%				

※有効アドレス数：調査案内メールの送信対象となった全アドレス数から送信不可（メールアドレス無効）を除いた数

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉

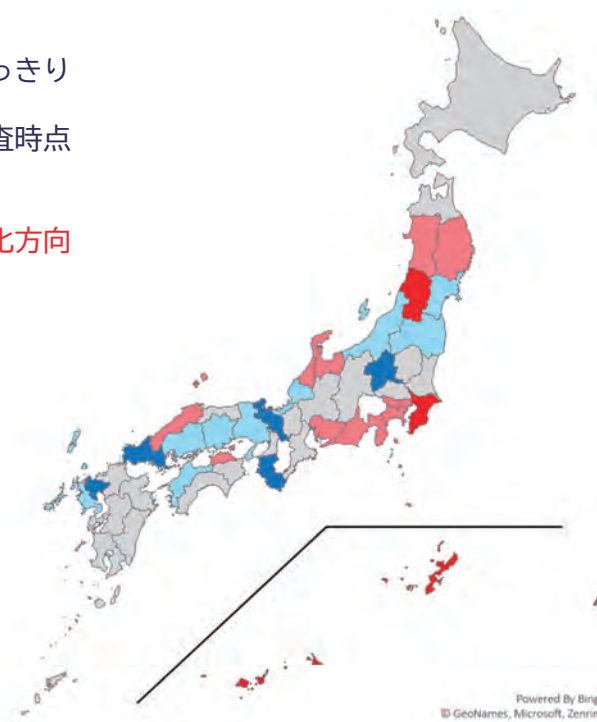


レンタル業界は、おおむね繁忙期と閑散期がはっきりしている業界と言えます。
この業況調査は、そうした季節要因を除いた調査時点での業況水準を示したDIを調査しています。

前と比べて「上昇」「下降」という**以前との変化方向**で判断するのではなく、売上が「良い」「悪い」という**調査時点の水準**で業況を判断しています。
回答の際の参考にしてください。

次回調査は4月に実施予定です。
会員会社様の肌で感じる地域業況調査にぜひ回答のご協力をお願いします。

5月には回答結果を都道府県単位でご報告いたします。



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

建設機械整備のスキルアップを支援！ -「eラーニング学習システム」活用のすすめ-

当協会教育部会では、会員企業の皆様の技術向上および資格取得支援の一環として、「建設機械整備技能士」の筆記試験対策としてeラーニングシステムを運用しております。

1. サービス提供の背景と目的

建設現場の安全と品質を支える建設機械整備士の資格取得は、技術者個人だけでなく、企業にとっても信頼の証となります。しかし、多忙な業務の合間に学習時間を確保することは容易ではありません。そこで当協会では、関連団体の協力のもと、実際の試験内容に即した、過去の筆記試験問題をベースに、学習コンテンツをeラーニング形式で提供しております。

2. 本システムの特長

- **いつでもどこでも学習可能**：PCやスマートフォンからアクセスでき、隙間時間を有効活用できます。
- **本番の試験に即した確かな内容**：正式な手順を経て作成された、過去の筆記試験問題に基づく実践的な問題セットです。安心して学習に取り組んでいただけます。
- **会員限定特典**：当協会会員の方であれば、どなたでも試験対策にご利用いただけます。

ご利用にあたっての注意事項

※本番の技能検定試験(学科・実技)は、他団体が実施・運営するものです。試験の詳細については、各実施団体の公示をご確認ください。

申込期間：4月～5月



お申込みQRコード

WEB講習（録画配信）のご案内

教育部会では、会員企業の皆様の技術向上と新人教育をサポートするため、WEB講習(録画配信方式)を定期開催しております。

昨年度も多くのお客様にご視聴いただき、「場所や時間を選ばず、基礎からしっかり学べる」と大変ご好評をいただいております。録画配信のため、業務のスケジュールに合わせて、期間中いつでもお好きなタイミングで受講が可能です。

1. 講習カリキュラムのご紹介

現在は、専門知識の土台となる2つの大きなテーマを軸に、**毎月交互に配信**を行っております。

• 電気の基礎知識(全5科目)

電気の性質や回路の考え方など、実務の基礎となる知識を体系的に学べる構成です。

• 油圧装置の基礎知識(全3科目)

油圧システムの原理から各構成機器の役割まで、装置を理解する上で欠かせない基本事項を網羅しています。

2. 本講習の特長

• 受講料は無料

当協会の会員企業様であれば、どなたでも無料でご視聴いただけます。社内研修などのツールとしてぜひご活用ください。

• メーカー会員による信頼の教材

教材は、各分野のメーカー会員の皆様によって作成されたものです。専門メーカーならではの視点で、要点が分かりやすくまとめられています。

今後の展望：コンテンツの拡充に向けて

現在、会員の皆様からの「継続してほしい」「もっと学びたい」という温かいお声を受け、さらなるサービスの充実を計画しており、現在のラインナップに加え、より幅広いニーズにお応えできるよう、新しい講習内容の追加についても検討を進めております。

教育部会では、今後も会員企業の皆様にとって価値のある学びの場を提供し続けてまいります。まだ受講されていない企業の皆様も、この機会にぜひご参加ください。



お申込みQRコード

● 登録制度事業 ●

建設機械レンタル業の信頼を支える 「登録制度」と「建設機械レンタル管理士」

— 制度の着実な運用と、更新手続きのお願い —

建設現場における安全管理の徹底が叫ばれる中、当協会が推進する「登録制度」は、会員の皆様が、日頃から積み上げてこられた「現場の信頼」を形にするための重要な基盤です。

本制度は、登録業者の皆様の各営業所に「建設機械レンタル管理士」を配置し、責任ある管理体制を確立することを目的としています。

特に本制度においては、一人の資格者が複数の営業所を兼務することを認めておりません。各営業所に専任の資格者を配置する厳格な運用を貫くことで、「営業所の数だけ確かな専門家がいる」という揺るぎない安心感を、地域のお客様へ提供してまいりました。

今年度は、本制度の更新時期にあたります。対象となる会員の皆様におかれましては、本制度の意義をご理解いただき、順次お手続きをいただけますようお願い申し上げます。

1. 「建設機械レンタル管理士」資格制度の運用

登録制度の土台となる本資格の更新・新規取得についても、eラーニングによりスムーズな運用が行われています。

• 受験・受講期間

上期：4月～8月

下期：10月～2月

• 受講形式と費用

新規取得：eラーニング+CBT試験(33,000円)

更新：eラーニングのみ(16,500円)

2. 登録制度がもたらす「3つのメリット」

1. 可搬型発電機整備技術者資格 ステッカーの割引

会員価格440円を330円に割引、更に特別価格を設定しています。

2. 日本建機レンタル総合賠償制度の割引

年間保険料に対して5%割引が適用されます。

3. 特定技能外国人の受入れに関する「協会会員証明書」の発行

円滑な人材確保をサポートする重要な書類発行を優先的に行います。



登録制度お申込み
QRコード



建設機械レンタル管理士お申込み
QRコード

● 可発事業 ●

可搬型発電機整備技術者資格

【はじめに】

建設現場において、安定した電力供給を担う可搬形発電機は、円滑な施工に欠かせないインフラの一つです。

昨今の現場環境においては、騒音抑制や排出ガス規制といった発電機自体の環境性能の向上に加え、ICT施工の進展など周辺機器の高度化に伴い、電源供給の質に対する要求水準もかつてないほど高まっています。

こうした高度化するニーズに対し、常に最良のコンディションを維持し、現場の信頼に応えているのが、当協会の「可搬形発電機整備技術者」の皆様であり、そして、長年の真摯な点検整備の積み重ねは、揺るぎない社会的信頼へと結実しています。

【「資格」と「ステッカー」がもたらす価値】

本制度の根幹は、資格者が協会指定の「定期点検記録表」に基づき厳格に検査し、その適合の証として「定期点検済証票(ステッカー)」を貼付する一連の流れにあります。

正規の手順を踏むことには、単なる形式以上の大きな意義があります。

・資格者の署名：

資格者が記録表に判定を下し、ステッカーを貼る行為は、その機体の安全性を「協会認定の技術者」が担保したという署名です。これは、万が一の故障時にも「正規の点検を完遂している」という事実が企業を守る根拠となります。

・現場への強力な説得力：

安全管理に厳しい現代の建設現場において、機体に貼られた最新のステッカーは、一目で「正規の点検済み」であることを示します。現場へのスムーズな搬入を後押しし、顧客からの信頼を得られます。

【ステッカー付帯の保険によるバックアップ】

本制度の大きなメリットが、正会員向けに完備された生産物賠償責任保険です。

この保険は、資格者が、正規の手順で点検を行い、協会発行の正規のステッカーを貼付した機体に対して適用されます。万が一の事態に備えるこの仕組みは、「ステッカーを貼る」という単なる事務作業ではなく、確かなリスクマネジメントそのものであると協会では考えております。

【許可主任技術者の要件(経済産業省)】

電気主任技術者免状の交付を受けていない人を選任許可申請する場合の要件は、下記の通りです。

- ・ 第一種電気工事士
- ・ 可搬型発電設備専門技術者資格・自家用発電設備専門技術者資格
(（一社）日本内燃力発電設備協会)資格保持者

・可搬型発電機整備技術者資格

((一社)日本建設機械レンタル協会)資格保持者

なお、主任技術者は、兼任(同じ人が2ヶ所以上に選任許可申請すること)はできません。

【申込・費用】

受講受験期間：申込4月～6月 受講4月～8月

受講形式と費用

- ・新規取得：eラーニング+CBT試験(33,000円)
- ・更新：eラーニングのみ(16,500円)

QRコード
JCRA

2025
No.000000
定期点検済証
JCR
安心できる
発電機の証。
10kW以上の発電機は
資格を持った技術者が
定期点検検査をしています。
生産物賠償責任保険付 (会員限定)

Denyo
真摯な「先入り」を掲げ、
「最先端データ駆動型」を推進！
DCA-10LSRZ
デンヨー株式会社

shindaiwa
「安全・安心・信頼」をモットーに
「最先端技術」を推進！
株式会社やまびこ

AIRMAN
「安全・安心・信頼」をモットーに
「最先端技術」を推進！
03-3348-7251
北越工業株式会社

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会



可搬型発電機整備技術者資格お申込み
QRコード

各委員会報告

2025年度各委員会活動実施報告1



委員会名		2025年度活動実施内容
流通委員会		・業況アンケート(年4回)
総務委員会		・働き方改革推進ポスターの作成 ・WEB講習
教育研修委員会	教育部会	・発電機、油圧関連WEB講習開催(毎月) ・建設機械整備技能士学科試験の学習用eラーニング実施(4月～8月) ・補助金支給(リーダー育成研修会・建設機械整備技能士検定【実技】の事前講習)
	可発部会	可搬型発電機整備資格者制度の運用・ステッカー・記録表販売・可発普及ポスター作成
登録制度委員会		建設機械レンタル管理士資格制度の運用・登録制度の運用・PQステッカー販売

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

2025年度各委員会活動実施報告2



	可搬型発電機整備技術者資格	建設機械レンタル管理士
資格者数	8,811人	4,076人
2025年度新規申込状況	587人(合格)	201人(合格)
2025年度更新申込状況	1,133人(対象者)	1136人(対象者)
	856人(更新) 76%	745(更新) 65%
受講受験期間(新規)	2月～5月	年2回 4月～8月・10月～2月
受講受験期間(更新)	4月～6月	年2回 4月～8月・10月～2月
受講受験料(新規)	33,000円	33,000円
受講受験料(更新)	16,500円	16,500円

受験受講期間(新規・更新)は、2026年度から4月～8月に変更

登録制度		
全登録社数(2026年1月現在)	184社	
2025年度更新対象社数	159社	124社更新・手続き中(更新率約78%) (2026年1月現在)
登録料	¥55,000円	
更新料	¥27,500円	2025年6月更新手続き開始

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

2025年度各委員会活動実施報告3



可搬型発電機(ステッカー・記録表)		
	ステッカー	記録表
販売数	74,488枚 (2025年)	695冊

2026年のステッカーは
10月より販売中

ステッカーの普及促進のため、頒布枚数で特別価格を設定していますので、来年度分をまとめてご発注される事を推奨します。

ステッカー・定期点検記録表の価格(税込み)

商品	会員	登録制度 登録業者	非会員
定期点検済票(ステッカー)1枚	440	330	1,320
販売枚数による特別価格(1~499枚)	—	330	—
販売枚数による特別価格(500~999枚)	—	275	—
販売枚数による特別価格(1000~4999枚)	—	220	—
販売枚数による特別価格(5000~9999枚)	—	165	—
販売枚数による特別価格(10000枚以上)	—	110	—
定期点検記録表(A)(月例・年次点検)1冊	660	550	1,980
定期点検記録表(B)(負荷特性試験・漏電遮断器検査)1冊	660	550	1,980
定期点検記録表(A)(B)各1冊ずつのセット	990	770	2,970

各種送料(税込み)

ステッカー送料(1~300枚)	110
ステッカー送料(300枚以上)	1,100
定期点検記録表送料(A)(B)1~5冊	110
定期点検記録表送料(A)(B)6冊以上	1,100

※送料は商品毎に異なります。

PQステッカー	
販売数	100枚

◆PQステッカー

ステッカー種類	注文数(枚)	販売価格(税別)
ステッカー大 L120×W98	100	30,000円
	200	43,000円
	300	45,000円
	400	48,000円
	500	50,000円
	600	54,000円
	700	56,000円
	800	57,600円
	900	58,500円
	1,000	60,000円
ステッカー小 L65×W50	100	24,000円
	200	32,000円
	300	36,000円
	400	38,000円
	500	40,000円
	600	42,000円
	700	45,500円
	800	48,000円
	900	49,500円
	1,000	50,000円

送料無料(北海道・沖縄のみ2,000円)

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

2025年度各委員会活動実施報告4



●教育研修委員会 教育部会

WEB講習

・電気の基本知識(5科目)
電気①/電気②/電気③/電気④/原動機

・油圧装置の基本知識(3科目)
油圧の基本(初級)/油圧バルブの基本(初級)
/油圧ポンプ・モーターの基礎(初級)

科目名	4月 申込者数	4月再生数	再生率(%)	5月 申込者数	5月再生数	再生率(%)	6月 申込者数	6月再生数	再生率(%)	7月 申込者数	7月再生数	再生率(%)	8月 申込者数	8月再生数	再生率(%)	9月 申込者数	9月再生数	再生率(%)	10月 申込者数	10月再生数	再生率(%)	11月 申込者数	11月再生数	再生率(%)	12月 申込者数	12月再生数	再生率(%)
電気①	125	168	134%				82	92	112%				37	51	138%				52	61	117%				56	99	177%
電気②	104	103	99%				63	60	95%				26	41	158%				42	31	74%				31	31	100%
電気③	120	89	74%				71	69	97%				45	38	84%				39	46	118%				37	26	70%
電気④	113	70	62%				73	69	95%				47	33	70%				35	30	86%				30	13	43%
原動機	101	73	72%				52	57	110%				25	36	144%				42	44	105%				27	16	59%
油圧の基本				96	148	154%				91	108	119%				48	70	146%				42	55	131%			
油圧ポンプ				66	73	111%				61	62	102%				44	44	100%				23	33	143%			
油圧バルブ				68	70	103%				64	65	102%				41	63	154%				26	52	200%			
合計	563	503	89%	230	291	127%	341	347	102%	216	235	109%	180	199	111%	133	177	133%	210	212	101%	91	140	154%	181	185	102%

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

2025年度各委員会活動実施報告5



●教育研修委員会 教育部会

補助金支給1	補助金支給2	1級・2級 建設機械整備技能検定事前講習(eラーニング)
<p>・リーダー育成研修会 (上限10万円)</p> <p>《開催ブロック》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東ブロック (栃木支部/長野支部) ・東北ブロック ・北陸ブロック(新潟支部) ・中部ブロック ・九州ブロック ・関西ブロック (大阪支部/和歌山支部) ・沖縄ブロック <p>合計:5ブロック・5支部開催</p>	<p>・建設機械整備技能検定事前講習会 【実技講習会】 (受講者1名につき5,000円)</p> <p>《開催ブロック》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道ブロック ・東北ブロック ・関東ブロック ・関西ブロック ・北陸ブロック ・中国ブロック ・九州ブロック <p>合計:357名</p>	<p>学科試験問題・計画立案等作業試験(過去3年分) 1級・2級</p> <p>申込期間:4月~6月 受講期間:6月~8月</p> <p>申込者数 1級 60人 2級 187人</p> <p>合計:247名</p>

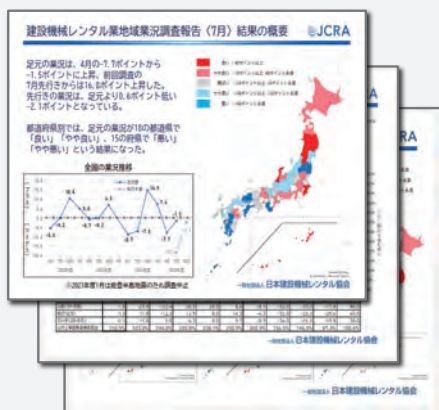
一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

2025年度各委員会活動実施報告6



●流通委員会

業況アンケート
2025年4月~9月調査結果
本部HPへ掲載



●総務委員会

働き方改革ポスター送付



WEB講習(2026年3月まで)

価格転嫁に向けた対応策

- ①価格転嫁の必要性と実務面の対応策
- ②「価格転嫁」と「違法なカルテル」の境界線

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会





日本建機レンタル総合補償制度について

日本建設機械レンタル協会正会員の皆さまへ

日本建機レンタル総合補償制度のご案内





本制度は、日本建設機械レンタル協会正会員さまのみがご加入できる保険制度です。

本制度のおすすめポイント

-  日本建機レンタル協会の登録制度に連動した**割引制度!** (メニュー1のみ)
-  団体スケールメリットを活かした手厚い補償を**割安な保険料**でご提供!
-  年中**いつでも**、メニュー一つからでも加入可能!
※メニュー1・2・5は毎月1日からの中途加入。
-  保険料は、**全額損金処理**が可能!
※今後法改正により変更となる場合があります。実際の税務処理については、税理士にご相談ください。



「日本建機レンタル総合補償制度」 5つのメニュー

<p><メニュー1> 総合賠償制度 (団体契約)</p> <p>レンタルした建設機械に起因した 賠償事故への補償</p>  <p>「登録事業者向け 割引制度」あり</p>	<p><メニュー2> 業務中災害補償制度 (団体契約)</p> <p>従業員の就業中のケガを補償</p>  <p>就業中の熱中症も補償</p>	<p><メニュー3> 動産総合保険制度 (個別契約)</p> <p>所有建設機械の保管中・ 貸出中等の損害を補償</p>  <p>自然災害*による 損害も補償</p>
<p><メニュー4> ダブルリース保険制度 (個別契約)</p> <p>会員企業が他社から借りた 建設機械の損害を補償</p>  <p>又貸し中の損害も補償</p>	<p><メニュー5> サイバー保険制度 (団体契約)</p> <p>サイバーセキュリティ事故・情報漏えい 事故に対する補償</p>  <p>カバンの置き忘れによる 情報漏えいも補償</p>	<p>2026年度から新たに 追加しました!</p>

※対象となる自然災害は「5つのメニューの特徴」をご確認ください。

このページは、制度概要を説明したものです。
詳細は、右記二次元コードからパンフレットにてご確認ください。
パンフレットの請求や制度の詳細は取扱代理店、または次ページに
記載の幹事代理店または損保ジャパンまでお問合せください。



5つのメニューの特徴

<メニュー1> 総合賠償制度

「建設機械レンタル業者登録制度」に登録している会員さまは、5%割引を適用

- ・貸出中のレンタル建設機械に起因して、第三者の身体や財物に損害を与えた事故を含む、レンタル業務の遂行にともなう賠償事故を包括的に補償します。
- ・また、本制度ならではの補償として、レンタル先のユーザーが使用中に起こした賠償事故や、ユーザー同士やユーザー・下請間で生じた事故も補償するオプションをご用意しています。

<メニュー2> 業務中災害補償制度

- ・就業中に従業員が被った死亡・後遺障害や入院・通院を幅広く補償します。
- ・企業が労災事故の使用者賠償責任を問われた場合や、ハラスメント等によって従業員から損害賠償を求められた場合に負担する争訟費用・損害賠償金などの補償もオプションでのご用意しています。

<メニュー3> 動産総合保険制度

- ・所有する建設機械を「保管中・輸送中・ユーザー貸出中」に生じた事故による損害を補償します。
 - ・豪雨や土砂崩れなどの水災※、台風などの風災といった自然災害による損害も補償します。
(地震・噴火またはこれらによる津波は補償対象外です。)
- ※契約方式により水災が補償されないプランがあります。

<メニュー4> ダブルリース保険制度

- ・会員企業が他のレンタル業者等から借りた建設機械への「使用中・管理中、ユーザー等に又貸し中」に生じた事故による損害について、所有者に対する賠償責任を補償します。
- ・借りた建設機械の火災や落雷などによる損害にくわえて、盗難についても補償します。

<メニュー5> サイバー保険制度

- ・サイバー保険では、サイバー攻撃発生に起因して他人に損害を与えた場合の法律上の損害賠償金などを補償します。
- ・また、電車内への置き忘れ、車上荒らし等による情報漏えいやそのおそれによって生じる法律上の損害賠償も補償します。

【幹事代理店】株式会社ワイズマン 東京支店

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-4-1 内山ビル2F

TEL 03-5623-6455 / FAX03-5623-6488 (受付時間：平日午前9時から午後5時まで)

【引受保険会社】損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第一課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 050-3808-3358 / FAX 03-6388-0155 (受付時間：平日午前9時から午後5時まで)

(SJ25-13577 作成2026/01/26)

日本建機レンタル企業年金基金についてのご案内

日本建機レンタル企業年金基金は、一般社団法人日本建設機械レンタル協会を母体とし、国の年金以上の給付を受けられることを目的に設立されました。

一般社団法人日本建設機械レンタル協会正会員の方は、加入できます。

私たちが加入する年金制度

会社にお勤めの皆さんは「厚生年金保険」という国の年金制度に加入します。「厚生年金保険」を通じて「国民年金」にも加入することとなります。

加えて「日本建設機械レンタル企業年金基金」に加入することにより、より豊かな老後生活を迎えられるために、国の年金とは別に独自に給付します。

「日本建設機械レンタル企業年金基金」は2つの年金制度

①確定給付年金(DB制度)：下図では第1DBと表示

②確定拠出年金(DC制度)：既に会社独自でDC制度を実施されている場合は第2DBを採用を導入しています。

日本建設機械レンタル企業年金		独自の年金制度
第1DB	DCまたは第2DB	
厚生年金保険		民間企業で働く人のための国の年金制度
国民年金		日本に住む全ての人のための国の年金制度

企業年金基金の制度概要

(1) 確定拠出年金(第1DB)

加入時期	入社日の翌月1日加入
喪失時期	退職日または65歳到達日
給付額	平均給与×加入期間に応じた支給率 ※給与：標準報酬月額
納付時期	60歳未満退職は60歳時、60歳以上退職は退職時より支給 一時金給付は退職時 ※65歳で退職となるが、在籍中の場合退職時まで繰下げ可能(退職所得控除適用)
支給期間	5年、10年、15年、20年の選択性の確定拠出年金 ※支給期間に応じ、年金給付額が変わる

(2) 確定給付年金(第2DB)：確定拠出年金をすでに採用している場合のみ (「給付額」以外は(1)確定給付年金と同じ)

給付額	元利合計給付(利率は年2.0%) ※確定拠出年金は利率変動のある元利合計とみなせるため平仄を合わせた設計
-----	--

(3) 確定拠出年金(DC)

(「給付額」「納付時期」「支給期間」以外は(1)確定給付年金と同じ)

給付額	本人が選択した商品により変動(利率変動のある元利合計)
納付時期	60歳未満退職は60歳時、60歳以上退職は退職時より支給 一時金給付も退職時 ※65歳で退職となるが、在籍中の場合退職時まで繰下げ可能(退職所得控除適用)
支給期間	5年、10年、15年、20年の選択性の確定拠出年金 ※生命保険の商品は終身給付あり

モデル給付額

加入年齢22歳 65歳退職 平均標準報酬月額350,000円
 年金か一時金のいずれかを選択します。(なお、25%刻みで年金に代え一時金の選択も可能)
 また、年金受給中に死亡した場合、残存期間分を一時金支給
 令和8年4月に給付増額を実施、下表は増額後となります。

	確定給付年金(DB)			確定拠出年金(DC)		
一時金を選択	2,044,000円			2,434,000円		
年金を選択	年金額	年金月額	総受取額	年金額	年金月額	総受取額
支給期間5年を選択	430,100円	35,842円	2,150,500円	512,100円	42,675円	2,560,500円
支給期間10年を選択	225,700円	18,808円	2,257,000円	268,700円	22,392円	2,687,000円
支給期間15年を選択	157,800円	13,150円	2,367,000円	187,900円	15,658円	2,818,500円
支給期間20年を選択	124,000円	10,333円	2,480,000円	147,600円	12,300円	2,952,000円

(参考)	年金額	年金月額	
国民年金	831,700円	69,308円	生存中のみ支給
厚生年金保険	1,286,900円	107,242円	生存中のみ支給

企業年金基金(DB)の財政状況 令和6年決算(令和7年3月末)は下図のとおり。

純資産	153億円	数理債務	101億円
		剰余金	52億円

令和7年3月末において、理論的に必要な資産額(数理債務)101億円に対し、153億円の資産を有し52億円の剰余金と非常に安定した財政状況となっている。

※確定拠出年金(DC)の残高(令和7年3月末現在)は、32億円となっています。

企業年金の給付の受取り方(利用方法)例

受取り方には目的によって選択が可能

- 一時金として
- 公的年金の上乗せとして
- つなぎ年金として

一時金として

- ・ DB、DCそれぞれで年金、一時金の選択が可能
- ・ 年金で50%、一時金で50%など25%刻みで選択割合を選ぶことも可能

公的年金の上乗せとして

DC(12千円)	5年、10年、15年、20年から選択
DB(10千円)	
厚生年金保険(107千円)	
国民年金(66千円)	

- ・ 国の年金173千円/月に20年間22千円/月上乗せ
- ・ 国の年金173千円/月に10年間41千円/月上乗せ

つなぎ年金として

DB+DC (79千円)	厚生年金保険(152千円)
	国民年金(94千円)

- ・ 国の年金は繰下げ支給も可能で0.7%/月の付利がある。(75歳まで繰下げ可能)

・ 上図の例

国の年金を65歳から70歳まで繰り下げると42%アップするので、年金額は73千円/月アップ(終身)。65歳から5年間は基金からの給付(79千円/月)で賄う。

企業年金基金加入のメリット

事業主にとって…

- 退職金の平準化(退職金の内枠とした場合)※位置づけは会社の自由
- 退職金の保全措置が免除
- 税制面で優遇(全額損金算入)
- 人材の確保と企業の活性化(イメージアップ等)
- 福利厚生をバックアップ(基金独自の事業)

従業員にとって…

- 手厚い年金(掛金負担なし)
- 基金独自の年金支給(加入10年以上でライフスタイルに合わせ5年、10年、15年、20年、一時金から選択できる。3年以上は一時金)
- 遺族一時金の支給：残存期間分は遺族一時金として支給
- 福祉事業の利用
(結婚祝金、出生祝金、死亡弔慰金、災害見舞金、年金相談、広報誌の配布)

福祉給付金額は以下のとおり

- ・結婚祝金 2万円/人
- ・出生祝金 1万円/人
- ・死亡弔慰金 5万円
- ・災害見舞金 5万円

※令和7年12月末現在、212事業所(加入者数9,030人、受給者数3,096人)加入いただいております。
未加入の事業所様におかれましては是非とも加入をご検討ください。何時でも個別に往訪させて頂きます。
※ご質問・ご相談は下記までお問合せください。

連絡・問合せ先 日本建設機械レンタル企業年金基金 事務局 山口 まで

TEL 03-3249-3871 FAX 03-3249-2801
メール nkr@seagreen.ocn.ne.jp

基金加入で 豊かな老後設計を

日本建設機械レンタル協会を母体とし、国の年金以上の給付を受けられることを目的に確定給付年金および確定拠出年金を創設。(既に確定拠出年金を導入している場合は、確定給付年金<第2年金>)



加入期間3年以上(年金は10年以上)で支給 (令和8年4月より給付増額改定)

<モデル給付額> 大卒、65歳退職、平均給与35万円
年金または一時金で受取

●一時金で受取

確定給付年金	205万円
確定拠出年金	243万円(想定利回り2.0%)
合計	448万円

●年金で受取(支給期間 5年、10年、15年、20年から選択)

5年支給	年94万円(受取総額471万円)
10年支給	年49万円(受取総額494万円)
15年支給	年35万円(受取総額519万円)
20年支給	年27万円(受取総額543万円)

参考)国民年金 年83万円(定額:令和7年度基準)
厚生年金 年129万円(賞与は給与の3.6ヶ月分)

安定した運営

確定給付年金(令和6年度決算)

資産		負債	
年金資産額	153億円	債務額	101億円
		剰余金	52億円

※債務額101億円に対し、153億円の年金資産を有し、5割以上の剰余となっています。

必要利回りも年2.0%としており、安定した無理のない制度・運営となっています。

- ◎ご質問、ご相談は下記までお問合せください。
- ◎何時でも個別に往訪いたします。ご連絡ください。

福祉事業

結婚祝金	2万円
出生祝金	1万円
死亡弔慰金	5万円
災害見舞金	5万円

※充実した福祉給付金

日本建設機械レンタル企業年金基金

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9
小網町安田ビル4階

TEL 03(3249)3871

(情報提供) 公益財団法人 日本道路交通情報センターより

特殊車両 通行**確認**制度 運用開始




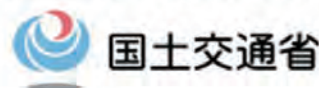
無料でお試し検索!

・特殊車両通行確認制度のご利用はこちらへ

HIDO 特車  で検索!

・制度や操作方法などのお問合せはこちらへ

 TEL 0120-161-948



特殊車両通行の手続きは 早い・簡単・便利な 通行確認制度で!



(X運輸会社 A様)

急な輸送依頼にも
対応できるので、
荷主様にも大変
喜ばれています。



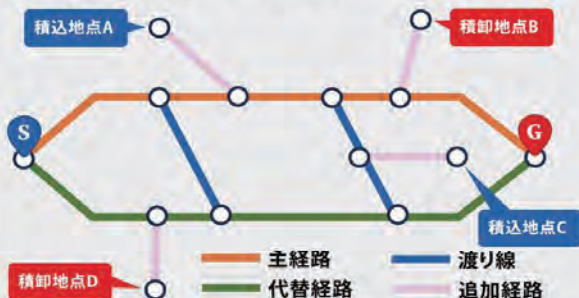
(Y建設会社 B様)

オンラインシステムは
操作も簡単だし、自動
で経路検索してくれる
ので助かります。

こんな場合に特におすすめ!

■ 固定ルートで途中に積込・積卸地点が多い

→2地点双方向2経路検索+ **追加経路**



元経路(S-G間主経路/代替経路の往復)にA-B間往復及びC-D間往復を追加した場合、許可制度の手数料は1,600円なのに対し、確認制度の手数料は1,000円!

取得済み経路に新たな積込・積卸地点を追加経路で結び、通行可能経路を取得

■ スポット的な依頼、急な依頼が多い

→都道府県検索+ **追加経路**



元経路(S-G間往復)に新たにS-A, S-B, S-C, S-D, S-E間の経路が必要となった場合、許可制度の手数料2,400円に対し、確認制度は1,300円!

急な依頼でも都道府県検索で面的に経路を取得し、必要に応じて追加経路でラストマイル取得

利用者様の声を取り入れて使いやすくなりました

- リフトアクスルトレーラの高速道路の経路確認が可能に!
- 路線名称を正しく表示させることにより通行経路が把握しやすさUP!
- 走行時に携行が必要な回答書一式の文書量を削減!
- スマホ・タブレット画面でも回答書一式を表示することが可能に!
- 令和6年春に対象経路を約16,000km拡大予定!(今後も対象経路を拡大していきます)

今後も使いやすいシステムに改善していきます!



重量超過によって
道路が受けているダメージは、
あなたの想像を超える

道路を守るため、車両の大きさや重さの上限が決められており、上限を超える車両は特殊車両通行手続きが必要です。例えば、軸重20トン車が道路橋の劣化に与える影響は、基準値の軸重10トン車の約4,000台分に相当します。悪質な違反車両が公共の道路の劣化を早めていますので、ルールを守って適正な大型車両の通行をお願いします。

安心して
荷物を
届けるために



荷主さん
無理な時間指定や
急な荷物の
増量などはせず、
適切な輸送依頼を。



運送事業者さん
車両の通行に
必要な
特殊車両通行申請を。



ドライバーさん
許可証や回答書を
携行し、あらかじめ
通行経路などの
確認を。

早い、簡単、便利な「特殊車両通行確認制度」の活用を!

10月は「大型車通行適正化推進月間」

— 重量違反車両等の取締りを強化しています —

重量守り、道路を守ろう。



連絡協議会ホームページ



連絡協議会SNS
(特車情報X)



大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会委員 名簿

○関係企業団体

- ・一般社団法人 千葉県トラック協会
- ・一般社団法人 東京都トラック協会
- ・一般社団法人 神奈川県トラック協会
- ・一般社団法人 埼玉県トラック協会
- ・一般社団法人 全国クレーン建設業協会 千葉支部
- ・一般社団法人 全国クレーン建設業協会 東京支部
- ・一般社団法人 全国クレーン建設業協会 神奈川支部
- ・埼玉クレーン協会

○関係行政機関

- ・警視庁 交通部
- ・千葉県警察本部 交通部
- ・神奈川県警察本部 交通部
- ・埼玉県警察本部 交通部
- ・国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
- ・国土交通省 関東運輸局 自動車交通部
- ・国土交通省 関東運輸局 自動車監査指導部
- ・国土交通省 関東運輸局 自動車技術安全部

○道路管理者

- ・国土交通省 関東地方整備局 道路部
- ・千葉県 県土整備部
- ・東京都 建設局 道路管理部
- ・神奈川県 県土整備局 道路部
- ・埼玉県 県土整備部
- ・千葉県 建設局 土木部
- ・川崎市 建設緑政局 道路河川管理部
- ・横浜市 道路局 道路部

- ・相模原市 都市建設局 土木部
- ・さいたま市 建設局 土木部
- ・東日本高速道路株式会社 関東支社 管理事業部
- ・中日本高速道路株式会社 東京支社 保安・サービス事業部 川崎道路管制センター
- ・中日本高速道路株式会社 東京支社 保安・サービス事業部 八王子道路管制センター
- ・首都高速道路株式会社 保安・交通部

「特殊車両通行確認制度」なら 柔軟・迅速に対応できます！

従来の「特殊車両通行許可制度」との違いはココ！

早い

オンラインで、
回答書の
入手まで即時完了

手数料の支払いも
オンライン決済

簡単

通行可能な経路を
自動検索※1

わかりやすいマニュアル
や操作説明動画あり

フリーダイヤルで
オペレータが教えてくれる！

便利

道路事情に応じて
柔軟な経路選択が可能

発行済み回答書への
経路追加が可能※2

車両登録から経路検索まで
無料お試しが可能

※1 検索が可能な経路は道路情報便覧の収録道路に限られます ※2 経路追加は10kmあたり100円の手数料がかかります



まずは、車両登録と経路検索を無料でお試ください！

※車両登録手数料を払わなくても経路検索のお試しができます(回答書は発行されません)。

車両登録

● 新規登録時の入力情報 ▶ 車両情報 / ETC2.0車載器情報 / 重量記録の保存方法

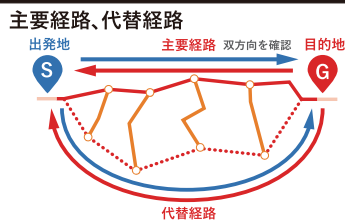
車両登録手数料：1台あたり5,000円(5年間有効) ※トレーラは手数料不要

経路確認

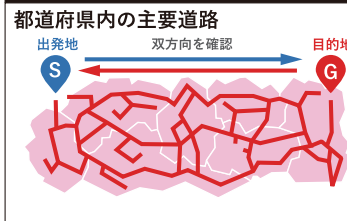
● 経路確認車両を選択 ▶ 積載貨物情報の登録 ▶ 経路検索方法を選択 ▶ 起終点を入力

[経路検索方法は以下の2通りから選択(ウェブ上に地図表示)]

2地点双方向2経路検索



都道府県検索



OR

※通行可能経路上に出発地・目的地があれば、経路追加が可能 ※確定(手数料支払い)前なら、何度でも無料で再検索可能



通行可能経路を自動検索し、即時回答

回答書発行

● 検索した経路が通行可能であると確認できたら、手数料のオンライン決済で確定

2地点双方向2経路検索：確認1件につき 600円

都道府県検索：確認1件につき 1~4県まで 400円/県、5~14県まで 300円/県、15~47県まで 200円/県

電子データによる「回答書」(1年間有効)の発行

通行

「回答書」(印刷または電子データ)を
携行して、確認した経路を通行

「特殊車両通行確認制度」について、
詳しくは「特車登録センター」へ
www.tks.hido.or.jp



Letters From The Branch

支部だより

◎北海道ブロック

ブロック長 倉内 広昭

●北海道支部

支部長 倉内 広昭

北海道支部の令和7年度の活動について、いくつか紹介させていただきます。

令和7年5月27日に第9回通常総会を開催致しました。上程議案、第1号議案から第4号議案の審議が行われ、議案全てが原案通り承認可決し、令和7年度活動方針・事業計画にしたがって事業活動がスタートしました。

総会終了後には、陸上自衛隊 北部方面總監部 幕僚副長を講師に招いて特別講演を実施し、北部方面隊による災害活動や取組みなどについて講話していただき、災害協定の実行性を高めていく必要を認識しました。

その後の懇親会では、正会員・地区部会・賛助会員ら多くの方に集まっていただき充実した意見交換が行われ盛会に終わることが出来ました。

6-7月には、当支部の事業活動の大きなひとつであります建設機械整備 技能検定の実技講習会を開催し、また、7月には実技試験の実施運営を支援致しました。当年度の実技講習会では18名の講師の方にご尽力いただき、受講者数128名(1級28名、2級100名)で前年の119名を上回る参加となりました。

実技試験については、受検者数234名(1級58名、2級176名)で前年の250名を若干下回る人数になりました。暑い時期に4日間の長期間に渡る実技試験でしたが、26名の技能検定委員のご尽力により、大きな事故もなく無事に終わることが出来ました。

表彰受賞については、優秀な若年技能者をたたえ、技能者の地位や技能水準の向上を図ることを目的として、北海道若年優秀技能者知事賞が贈呈されています(賞の対象者：満30歳以下で、同一職種に関し、実務経験5年以上で技能の功績が顕著な者)。前年度ですが、北海道支部会員でとても優秀なお二人を推薦したところ、2名とも見事に北海道若年技能者知事賞の贈呈が決まりました。吉澤 和磨様(株式会社アクティオ)および 村上 貴志様(株式会社カナモト)のお二人で、令和7年2月27日に同知事賞を受賞されました。若い時しか獲得できない非常に価値のある受賞を心より祝福致します。

災害協定に伴う活動として、北海道庁の令和7年度防災総合訓練に参加させていただきました。第1回が令和7年8月27日に後志総合振興局管内で、第2回が令和8年1月22日に桧山振興局管内で実施され、いずれもメイン会場において避難所運営訓練として防災機材の展示・説明を行いました。訓練の参加にあたっては、当該地区の後志地区部会および函館地区部会の皆様にご対応いただき、北海道庁との連携強化を図ることが出来ました。

また、陸上自衛隊北部方面隊による災害訓練にも参加させていただきました。令和8年1月26日、官公庁・自治体や関連機関が協力して、厳冬期での日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対処訓練(カムイガーディアン)において、被災の対応訓練を実施しました。当協会北海道支部は津波により浸水被害を受けた駐屯地のインフラ復旧のために、北部方面総監部から要請を受けたあと、該当地区部会と協調を図りながら、発電機や重機などのレンタル機器を準備・手配しました。実際に協会会員企業様による駐屯地へ機器の運搬、および机上対応の併用により協力したことで、実効性を高めることが出来ました。

さらには、北海道開発局が中心となって推し進めている北海道道路啓開計画協議会を構成する関係機関に加えていただきました。一昨年1月の能登半島地震等を踏まえ、道路啓開の実効性を向上するため道路法が一部改正、令和7年8月20日に改正道路法に基づく啓開計画策定に向けて、当協会北海道支部が加わった北海道道路啓開計画協議会が開催されました。協議会設立以降、計4回のワーキンググループ(WG)によって、令和8年1月には道路啓開計画の全体像がまとまりました。その後、第2回・第3回の協議会を経て、令和8年3月までに計画が完成し、公表される見込みです。

引き続き、会員の皆様と共に協調、協和の精神で連携強化とより良い支部活動を目指し事業を進めていきたいと考えておりますので、未来に向けた活動にご支援とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。



第9回通常総会



建設機械整備 実技講習会 (エンジンの分解・組立)



建設機械整備 実技講習会 (油圧シリンダの分解・組立)



建設機械整備 実技講習会 (部品製作)

◎東北ブロック

●青森支部

支部長 中村 昭芳

青森支部の令和7年度の活動について、いくつか紹介させていただきます。

令和7年5月29日(木)十和田市総合防災訓練

令和7年9月27日(土)三沢市総合防災訓練

令和7年10月4日(土)八戸市総合防災訓練

令和7年11月1日(土)青森県総合防災訓練 (雨天中止)

3件の総合防災訓練へ参加しました、同訓練は災害対策基本法第48条及び青森県地域防災計画並びに各地域防災計画に基づき、防災関係機関、団体と地域住民の参加、連携の下、地震、津波災害発生時の応急対策を迅速、的確かつ総合的に実施できるよう、各種訓練を行うことで、防災体制の強化と地域住民の防災意識の向上を図ることを目的としたものです。

青森支部ではポータブル電源・ソーラーパネルや救急レスキューベンチ、LED充電式ライトなどを展示し会員各社が商品説明を行い、各関係団体から高い関心を寄せて頂きました、今後もより一層各行政との連携強化に努めていきたいと思っております。

【十和田市】



【三沢市】



【八戸市】



● 秋田支部

支部長 小川 薫

秋田支部は、正会員16社、賛助会員23社加入しており。役員10社と事務局が中心となり運営しております。

2025年は、当初計画のとおり役員会議等の開催調整がうまく進行し順調に各行事を消化しております。

また、運営面で支部会員の親睦に注力し会員のまとまりを図るという方針のもと、2回のゴルフコンペを開催出来、会員の皆様から好評をいただきました。

秋田県内の出来事として、残念ながら二年継続して「自然の驚異が地域を襲う」ということを挙げなければなりません。

<記録的な大雨>

一番として8月20日、9月2日の記録的な大雨による県内各地で被害と犠牲者を出しました、多くの住民が避難を強いられ、農業被害も巨額に及びました。大雨被害は2023年、2024年と3年連続災害となりました。

<クマによる被害>

二番としてクマによる人身被害が県内各地で続出しています。特に秋以降、市街地や観光地に頻りにクマが出没する異常事態となり経済的な影響も出ています。

以上の自然災害において秋田支部の会員には幸いにも被害が発生しておりません、災害はいつ起きるかわかりません備えを怠らないようにしたいものです。

引き続き自然災害に警戒しながら、秋田支部会員のチームワークを図り支部の業務を進めてまいります。



2025年10月15日
秋田支部 懇親ゴルフ 集合写真

● 岩手支部

支部長 佐藤 一彦

岩手支部は平成29年5月に岩手県建設機械リース業協会から名称変更し、一般社団法人日本建設機械レンタル協会東北ブロック岩手支部として新たなスタートを切っております。

令和7年12月現在、正会員17社、賛助会員27社、計44社で構成され、年間行事としては、定時総会、理事会、親睦ゴルフコンペ、新春講演会及び新年交賀会を計画・実施しております。

商品PR講習会

令和7年7月15日～17日の3日間にて、各メーカー様のご協力を頂きまして、商品PR講習会を実施致しました。普段、当協会の行事に触れる機会のない会員各社従業員の皆様、総勢46名の方々にご参加頂き大変有意義な講習会となりました。

ヤンマー建機株式会社様、日本キャタピラー合同会社様、株式会社鶴見製作所様、ご協力頂きまして、大変ありがとうございました。



親睦ゴルフコンペ

令和7年9月3日、メイプルカントリークラブにおいて正会員及び賛助会員の交流を図る目的で、恒例となりましたゴルフコンペを開催致しました。

32名の会員の方々にご参加頂き、優勝は西尾レントオール(株)の富山泰幸様、準優勝は、関東鉄工(株)の松澤栄二様、第三位は(有)リース工業の浦田真一様となりました。

来年度以降も継続して開催予定ですので、数多くのご参加を期待しております。



● 宮城支部

支部長 山本 健吉

— 今年度の主な開催行事 —

<第52回定期総会>

開催日：令和7年5月15日(木)会場：仙台サンプラザ 参加人数：99名(67社)

* 第52回定期総会を開催した。全議案が賛成多数で承認され、終了後は懇親会が行われた

(110名参加)



<令和7年 第一線営業担当者会議・合同分科会>

開催日：令和7年6月18日(水)会場：仙台サンプラザ

参加人数(基調講演：67名/分科会：84名/懇親会：88名)

* 当支部恒例行事である“第一線営業担当者会議・合同分科会”を開催した。

プログラム前半に、エムストリームコンサルティング(株)代表取締役 植田正樹氏による基調講演、昼食をはさみ、分科会毎の情報交換会を行った。その後、各分科会の年間活動計画発表、賛助会員の新品発表が行われ、終了後は賛助会員を交えた懇親会が行われた。





<令和8年 新春懇話会／新年賀詞交歓会>

開催日：令和8年1月15日(木) 会場：仙台サンプラザ

参加人数(新春懇話会：132名 ※賛助会員製品PR：6社 / 新年賀詞交歓会：171名)

*年明けの恒例行事である新春懇話会を開催した。終了後には新年賀詞交歓会が行われ、会員同士で今年の飛躍を誓い合った。(豪華景品抽選会も開催)



— その他の開催行事 —

<三役会・理事会>〔隔月開催〕

<親睦ゴルフコンペ> 令和7年9月10日(水)東蔵王ゴルフ倶楽部 (15名参加)

<分科会 リーダー・副リーダー会>令和7年5月21日(水)／令和7年11月26日(水)

<分科会活動> 各分科会が年間計画に沿って複数回開催

<建設機械整備講習会>

実技：令和7年7月5日(土)～ 6日(日)／学科：令和7年8月2日(土)～ 3日(日)

■災害協定：石巻市との『災害時における応急対策資機材レンタルに関する協定』

* 令和8年2月17日(火)締結予定

◎東北ブロック

・山形支部

ブロック長 久保田 栄二

支部長 小野寺 啓一

山形支部としては年2回春と秋の親善ゴルフコンペと年2回の総会(定期総会、臨時総会)を開催しております。総会の後には賛助会員による自社取り扱い製品のプレゼンテーションと会員勉強会を開催しており、情報の共有が図られております。また日頃の仕事の疲れを癒やす温泉に入り、その後 会員相互の親睦と交流、情報交換等を促進する為に懇親会を開いております。

一時期、会員の退会により会員数の減少で会の運営が危ぶまれたときもありました。その危機感から県内外の企業へ会員の中から入会のお誘い声かけして頂き、今年度は3社の新入会員をお迎えしました。

今後も 会の目的である会員相互の親睦と交流を図りながら支部活動を続けて参ります。皆様からのご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いします。

5月14日 親善ゴルフコンペ 新庄アーデンGC



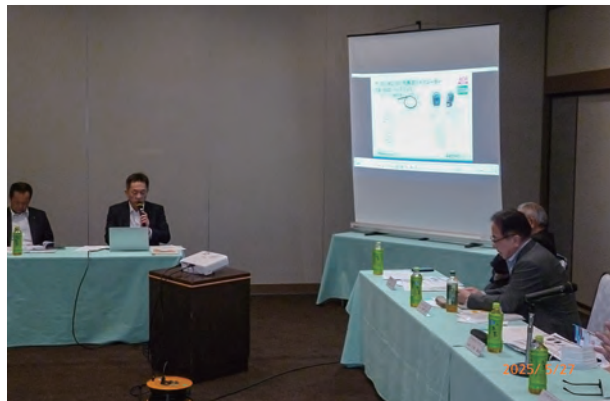
5.14 親善ゴルフコンペ優勝者 協会事務局 新関



5月27日 定期総会 天童 天童ホテル



三笠産業(株)様 プレゼンテーション、勉強会



いすゞ自動車(株)様 プレゼンテーション、勉強会



コベルコ建機日本(株)様 プレゼンテーション、勉強会



10月23日 親善ゴルフコンペ 新庄アーデンGC



10.23 親善ゴルフコンペ優勝者
西尾レントオール(株) 富山 氏



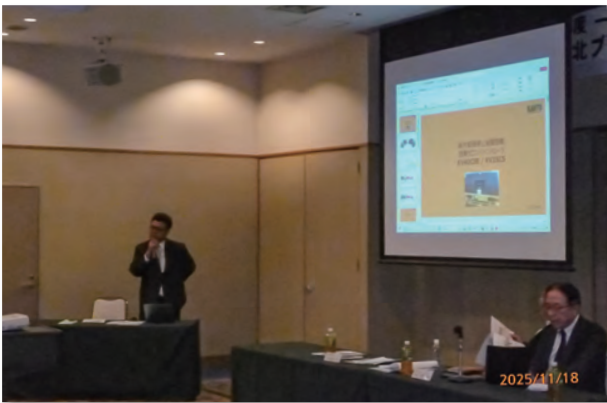
11月18日 臨時総会 寒河江 一龍、サンチェリー



三笠産業(株)様 プレゼンテーション、勉強会



関東鉄工(株)様 プレゼンテーション、勉強会



小野寺支部長 あいさつ



新入会員あいさつ

エスアールエス株式会社



新日本建販株式会社



住友建機販売株式会社



● 福島支部

支部長 後藤 一弘

福島支部 「令和7年度 第51回通常総会」開催

福島支部は 昨年度 設立50周年を迎え 協会本部より角口会長・寺本常務理事(当時)、久保田 東北ブロック長、東北各支部 その他 ご来賓多数 ご列席を頂きまして 盛大に記念式典を開催し、記念すべき年となりました。

今年度は設立51周年 60周年に向けての 新たな第一歩をスタートし 4月に令和7年度第51回通常総会を開催いたしました。会員81社(内委任状19社)約90名が出席し懇親会でも80名が参加いたしました。



(4月1日現在 会員数82社(内正会員47社、賛助会員35社)となっています)

事前講習会「技能検定・実技(2級)」の開催

例年 福島支部単独で開催実施していた、建設機械整備技能検定試験に向けての受験予定者を対象とした事前講習会を 令和7年度は 福島県立職業能力開発校である「県立テクノアカデミー」との共同開催で実施しました。

技能検定対策セミナー(受験対策コース)建設機械整備作業(エンジン分解・組立・測定)とコラボしました。

県内3ヶ所(郡山・会津・浜)の各校を会場に、エンジン分解組立測定の正しい知識 技能を身につけ技能検定試験 合格率の向上を 目指しました。受講申し込み者は各校20程となりました。



◎ 関東ブロック

● 群馬支部

支部長 中川 秀敏

令和7年度 群馬支部活動

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

事業内容	実施時期等
理事会	4月
第1回理事会・群馬支部定期総会	5月15日
理事会	5月15日
賛助会	5月15日
群馬支部ゴルフコンペ	3月24日
災害対策用機械操作訓練	6月28日
第2回定例理事会	7月20日
賛助会	7月20日
第3回定例理事会	8月28日
賛助会	8月28日
若手意見交換会	8月28日
国土交通省高崎河川国道事務所渋川西BP訓練	10月17日
群馬支部ゴルフコンペ	10月22日
第4回定例理事会	11月28日
賛助会	11月28日
忘年会	11月28日
国土交通省高崎河川国道事務所打合せ	1月15日
群馬支部賀詞交歓会	1月28日
第5回定例理事会	1月28日
賛助会	1月28日

令和8年度 群馬支部活動計画

自 令和8年4月 1日
至 令和9年3月31日

事業内容	実施時期等
臨時理事会	4月
第1回理事会・群馬支部定期総会	5月
群馬支部ゴルフコンペ	年2回位
勉強会	年2回位
第2回定例理事会	7月頃
若手意見交流会	年1回位
賛助会	年3回位
災害情報伝達訓練	
災害訓練視察	
第3回定例理事会	10月頃
国土交通省高崎河川国道事務所除雪訓練	
賀詞交歓会、第4回定例理事会	1月頃
第5回定例理事会	3月頃
国土交通省高崎河川国道事務所との打合せ	随時





● 栃木支部

支部長 森田 康弘
事務局 伊藤 義昭

昨年は戦後80年の節目にあたり、公や民間の各種団体で戦争と平和を考える催しが行われました。

私も何力所か足を運び、印象に残ったことがありました。

戦争を体験した人、語れる人が少なくなっている今、改めて戦争の現実を直視することの大切さに気づかされました。

東京大空襲や広島・長崎、沖縄はじめ全国の街並みが焦土と化した日本が復興した際にどれだけの人々の力が発揮されたのか中でも産業機械、建設関連機械の発展にどれだけ貢献寄与してきたことか思いを馳せました。

更に、近頃の地球規模で多発する自然災害の中で復旧復興に当たり絶対的に不可欠の、建設機械器具、備品類を提供する社会的責任を担っていることを肝に銘じ、業界の一層の発展を仲間の皆さんと共に進めて行きたいと思いました。

支部は会員30社、賛助会員30社の構成で理事会年4回の開催を軸に、総会・リーダー育成研修会78名の参加者で実施。

コロナ禍を挟んで13回を迎えた営業マンの顔つなぎ交流目的に業界の健全な発展を願って「労働生産性の向上目指して」をテーマにしポストイットセッションに46名(初参納入加37名)

優良事業場視察は、(株)諸岡さんにお世話になりました。ゴムクローラーを強みとするキャリアダンプ等の建設・林業機械メーカーとして世界的に注目されている現場を見学しました。会員13社賛助会員4社、26名が参加しました。

恒例のゴルフコンペは宇都宮カントリークラブで開催、27名の参加者で実施しました。優勝は第6代栃木支部長に就任された森田康弘氏、第二位は鶴見製作所 難波剛氏、第三位はアクティオ小松功孝氏でした。

また、2月10日賀詞交歓会&新商品発表会(参加83名)なども企画しています。



● 東京支部

支部長 福山 慎一

全国の正会員、賛助会員の皆様には、日頃より建設機械レンタル協会東京支部の活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

振り返れば、日本初の女性総理となる高市早苗首相が誕生し、減税や経済再生を軸とした政策が動き出し、ガソリン税を含む減税措置は、建設・物流分野の負担軽減に寄与するものと期待されます。また、長く同一政党が担ってきた国土交通大臣が交代したことで、現場の声を踏まえた実効性ある政策への展開に新たな兆しも見えてまいりました。

一方、建設機械レンタル業界を取り巻く環境は依然として厳しく、資材・燃料価格の変動、人件費上昇、機械維持費の増加など、企業努力だけでは吸収できないコストが増え続けています。こうした中で今年、東京支部が最も重視するテーマは「価格転嫁の徹底」です。適正な単価なくして、設備投資、安全確保、若手育成、そして企業経営の安定は実現できません。



東京協議会 ダーツ大会



TR会ゴルフ
(175回TR会オープンコンペ)



千葉協議会ボウリング大会

東京支部では今年、価格転嫁を最優先課題に位置づけ、会員間の情報共有や啓発活動、成功事例の紹介を通じて、単価正常化の理解促進と実践を力強く支援してまいります。

併せて、東京都や関東地方整備局との連携を深め、大規模災害時の建設機械運用体制の整備を進めるほか、人材不足への対応として若手育成や多様な人材が働きやすい環境づくりにも取り組みます。また、協議会主催の交流事業の充実を図り、会員企業の福利厚生向上や業界内ネットワークの強化も積極的に支援してまいります。

具体的には、地場レンタル中心の勉強会・意見交換会、商品勉強会などの実施、心身の健康と交友関係の向上を重視し、各協議会におけるダーツ、ゴルフ、ボウリング大会等支援や福利厚生の充実にも取り組むことで、正会員および賛助会員が友好的で働きやすい環境づくりを支援しております。

令和7年度、東京支部の活動の一部を紹介いたします。

【社会見学ツアー】

今年度の社会見学ツアーは、2月5日(水)に好天の中、総勢26名の参加で、国土交通省の推薦する埼玉県春日部市「首都圏外郭放水路」を訪問しました。

外郭放水路展示場を見学した後、巨大な見学コースへと進み、記念写真を撮影後、それぞれ地下神殿コースを体感しました。

首都圏外郭放水路は埼玉県を通る国道16号の地下約50メートルに建設されており水を地域の河川から地下に取り込む「立抗」・地下で



水を送り込む「トンネル」・水の勢いを調整する「調圧水槽」・水を河川に吐き出す「ポンプ設備」などで構成され、いずれの設備も巨大な人工物で、そのスケール、そびえたつ柱の様子から防災地下神殿として国内外に認知されています。



【会員親睦行事・お台場バーベキュー】

今年度会員親睦行事は、昨年同様、東京お台場デックス東京ビーチ(BBQ PLAY GRUND)でのバーベキュー大会を開催しました。

10月18日(土)お子様6名を含め12社32名様に参加いただきました。

時折襲う突風と煙の中で、お酒が入り次第に打ち解け皆さん和気あいあいに楽しんでいました。終盤にはディズニーランドペアチケット等の大抽選会を行い、大興奮のイベントとなりました。しました。協賛をいただいた多くの皆様、ありがとうございました。



【流通問題勉強会、講演セミナー】



今回の流通問題勉強会は、10月28日(火)ホテルグランドヒル市ヶ谷において2部構成にて執り行ないました。

第1部は、日本道路交通情報センター様のご紹介で、国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通対策課 建設



専門官 廣瀬 貴芳様を講師に迎え、「特殊車両通行制度」大型車通行適正化をテーマにご講演いただきました。私ども建設機械レンタルにおいても大型機械、車両の配送等に携わるものとして、現状や、今後の法改正を伴う展望など、具体的に詳細をご説明いただき、大変勉強になる内容でした。

第2部は、日本航空JALビジネスアドバイザー 山本 千恵子様を講師にお迎えし、「クレーム対応」をテーマに研修をさせていただきました。今回の研修に参加された皆様は、クレーム対応の基本、クレームに対する感情の理解、心構えなど、顧客への対応等、わかりやすくご説明いただき、各自の仕事に活用できる内容も多くあったのではないのでしょうか。この研修の中で学んだスキルを少しでも習得され、少しでも今後の仕事にお役立ていただければ幸いです。



【ミニバックホートラブルシューティング講習会】

故障の原因追究と修理を受講者が自ら解決対応する内容での実施となりました。実技講習を通して知識の修得、対応力の向上を図ることにより、実際に現場でトラブルが発生した際の参考とするための実践的な研修ではなかったでしょうか。



6社9名の技術、営業員が3グループに分かれ、講習ではできる限り経験年数の近い他社の社員3名でチームを組み、3グループで各メーカーのそれぞれの機械のトラブル解決に取り組み、ローテーションで3社全ての機械のトラブル対応を経験してもらいました。各社の講師の方々からもトラブル発覚後の初期対応、電気回路図の見方など実践的な指導をしていただきました。



【地場レンタル会社勉強会】

2年連続の開催となる地場レンタル会社勉強会を令和8年1月14日(水)に開催しました。今回は26社44名の参加をいただきました。平山経済研究所 平山代表様をお招きし「生成Aiの動向と経営・業務における活用方法」をテーマに講義いただきました。興味はあっても業務にどうやって活用していけばいいかわからないという声が多かった参加者の皆様に対して具体的にわかりやすく説明をいただき大変興味を引く内容でした。



またそのあとに開催した意見交換会においても情報交換が行われ参加者の皆様には貴重な時間となりました。

最後になりますが、今後も「全国最大支部」の自覚を持ち、「より良い協会・魅力ある協会」となるよう率先して活動していきたいと思っております。

そのためにも、協会本部のなお一層の支援をお願いするとともに、会員各位のますますのご隆盛と日本建設機械レンタル協会のご発展をご祈念申し上げます。



● 神奈川支部

支部長 金子 眞紀子

2025年 新年賀詞交歓会

2025年1月28日 横浜市中区 ホテルニューグランド 234名参加



2025年度 通常総会・懇親会

2025年5月29日 横浜市中区 ホテルニューグランド 189名参加



建設機械整備 技能検定試験 実技講習会 事前講習会

2025年7月16・17日 神奈川県立産業技術短期大学校 西キャンパス 29名参加



建設機械整備 技能検定試験 実技試験

2025年7月22～25日 神奈川県立産業技術短期大学校 西キャンパス

1級21名 2級68名 合計89名 受験



リーダー育成研修会

『日本カーリング選手権大会 横浜2025』 競技観戦・講習会・懇親会

2025年2月6日 横浜BUNTAI 参加者30名



第9回 エンジョイ・フットサル大会

2025年11月22日 横浜市金沢産業振興センター 105名参加



第46回 KL会 会員交流ゴルフコンペ

2026年1月16日 静岡県御殿場市 太平洋ゴルフクラブ御殿場コース 38名参加
優勝者 (株) AIRMAN 隅田 雄介 神奈川支店長



この度、令和7年秋の褒章に際しまして、図らずも黄綬褒章を授与されました、
2025年11月21日国土交通大臣から褒章の記、褒章の伝達を受け、また天皇陛下に拝謁の栄誉を賜
りました。多年にわたり、建設機械器具賃貸業に従事し業界の発展に多大な貢献をした功績、によ
り黄綬褒章を受章しました。この度の受章に際しましては、協会本部、又支部の会員の皆様より多
大なるご支援また長きにわたり御支持を頂き、私共々、神奈川支部一同、厚く御礼申し上げます。
今後はなお一層精進してまいります。

皆様の益々の御発展を心より祈念し挨拶とさせていただきます。 金子眞紀子



2025年11月21日 受章伝達式 国土交通省にて

◎ 関東ブロック

● 長野支部

ブロック長 小松崎 伸一郎

支部長 花岡 昇

【令和7年度 定期総会・懇親会】

5月13日 諏訪市のRAKO華乃井ホテルを会場に、正会員21名・賛助会員32名・来賓8名(国土交通省中部地方整備局の2事務所、災害時応援協定先4市町村)出席の下開催。4議案が採決・承認されました。

終了後、同会場にて懇親会を開催しました。

【親睦ゴルフ大会】

①5月14日 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部にて開催。

23名が参加。松本浩司さん(三笠産業株)が優勝されました。

②10月28日 大浅間ゴルフクラブにて開催。

26名が参加。有山浩幸さん(株アールアンドアール)が優勝されました。

【研修会 講演会】

11月10日 長野市のホテル国際21を会場に、陸上男子400メートルハードルの日本記録保持者「為末大氏」を講師に招き、「ハードルを越える」をテーマに講演会を開催。正賛会員55名が聴講しました。



◎中部ブロック

ブロック長 瀧 哲也

中部支部と静岡支部が完全統合、中部ブロックとしてスタートし2年目を迎えました。
各行事も多数のご参加をいただき、情報交換も活発に行われました。

○理事会

- 6月3日 第1回 理事会(議題) 総会進行打合せ、地域支部会・委員会開催計画
国交省中部地方整備局訪問報告 他
- 8月26日 第2回 理事会(議題) 地域支部会中間報告 活動計画(委員会)他
- 12月3日 第3回 理事会(議題) 新年賀詞交歓会役割分担等確認、教育・重機・高所委員会報告
中部北・西・東、静岡支部会の報告 諸報告 他

○総会(名鉄グランドホテル)

- 6月3日 第2回(58期) 通常総会、製品説明会(SORABITO株式会社、株式会社櫻川ポンプ製作所、株式会社鶴見製作所)、国土交通省中部地方整備局大島調整官講演、懇親会を開催



総会(瀧ブロック長挨拶)



総会(濱田理事 業業計画案説明)



製品説明会



国土交通省中部地方整備局
大島常生総括防災調整官 講演



懇親会

○地域支部会

- 9月8日 中部北支部会 THE CONDER HOUSE
- 9月11日 中部東支部会 ホテル メルパルク名古屋
- 9月11日 中部西支部会 ホテル メルパルク名古屋
- 11月12日 静岡支部会 ツインメッセ静岡



中部北支部会 懇親会



中部東・西支部会 合同懇親会



静岡支部 情報交換会

○重機・高所委員会、教育委員会

10月1日 教育委員会(TABMEC株式会社 安全体感道場) 15社37名参加

10月28日 重機・高所委員会、合同懇親会(ホテル メルパルク名古屋)

重機委員会 27社43名、高所委員会 15社24名、合同懇親会 33社71名参加



教育委員会 ・高所体感



・玉掛け作業体感



・フォークリフト体感



重機委員会



高所委員会



重機・高所委員会 合同懇親会



○新年賀詞交歓会 商品・サービス説明会、賀詞交歓会(名鉄グランドホテル)

1月28日 開催予定

○理事会

3月 開催予定

◎北陸ブロック

●北陸支部

ブロック長 川下 五継

支部長 川下 五継

北陸地域においては、おそらく工事発注数や公共投資額が2026年度に最大化するであろう能登半島地震の対応が大きなトピックで目立っておりますが、中部縦貫道の整備や国土強靱化地域計画などの河川整備など北陸新幹線の延伸効果を活かした駅前再開発や道路・河川インフラの強化、都市再開発と防災強化関連の仕事が目立った年でした。

能登半島地震関連の仕事は現在業界のキャパを超えるほどの量がありますが、2028年頃にはピークアウトし、2030～33年までには地震前の水準に戻ると考えられます。レンタル市場の飽和による過当競争やレンタル資産の過剰在庫による経営状態の悪化などを起こさないように、先輩諸氏の経験や助言を活かし、支部内でビジョンの共有を図って参ります。

業界の発展のため建設機械レンタル業界の知名度や認知の拡大を図るべく活動してまいりましたが、新潟支部との交流、会員同士の交流や顔を合わせての集まりなどが十分にできていないなどの課題があり、意見交換や交歓の機会を増やしていかないといけないと思料しております。

令和7年5月8日 理事会(WEB会議)

定期総会議案の審議を行う。

令和7年8月1日 役員会議(WEB会議)

石川県警察本部との災害時支援協定締結の承認

(株)諸岡の賛助会への入会承認

特別顧問である鶴保氏の発言に対する対応についての件

令和7年12月3日

ニッセイ・リース(株)の賛助会入会承諾

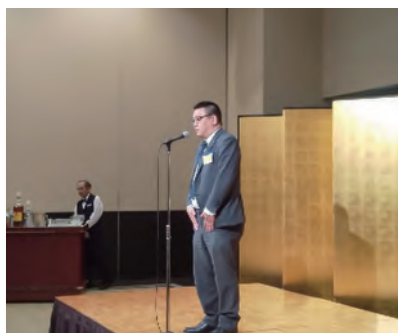
令和8年新年賀詞交歓会の開催日の決定

三県交付金の改定について

マイナ免許証に対する対応状況について

令和7年5月28日 定期総会開催(於 ホテル金沢)

正会員 38名 賛助会員40名 計78名参加



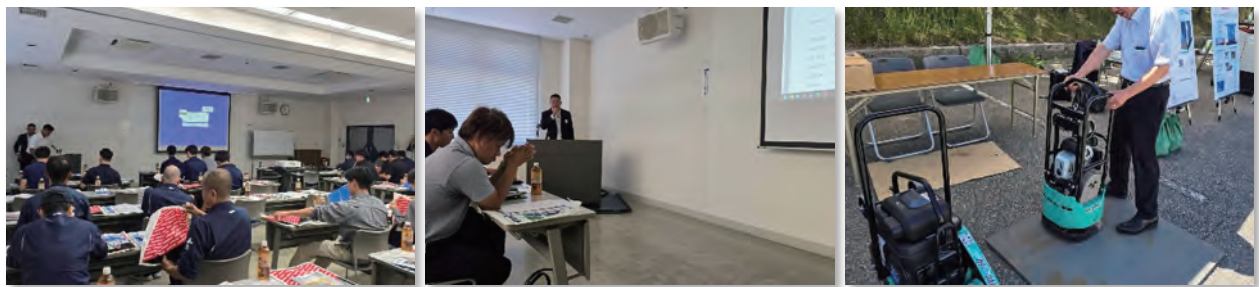
令和7年6月10日～12日 2級技能検定事前講習会開催 (株)フボタ建機ジャパン

27名参加 実技合格者 21名(過去の受講者も含む)



令和7年7月29日 ユアサ商事(株)との共催による社員勉強会(新商品説明会)開催

於 金沢ものづくり会館 42名 参加



令和7年8月5日 「石川県警察と災害時における物資の賃貸借に関する協定」を締結



本事業は能登半島地震と輪島豪雨災害の被害と対応を通し、建設機械レンタル業と協会を重要な業界と団体だと認知していただいた石川県警からのアプローチで実現しました。

このような形で認知と知名度が拡がり、共同していく団体が増えていくことが、業界の安定的な発展と人材の確保につながると信じます。

扱いが少々小さいのが残念ですが…

令和7年9月26日 第14回ゴルフコンペ開催 (於 芦原ゴルフクラブ) 31名参加

200以上のスコアを平気でたたき出す、自身の果てしないゴルフへの苦手意識によるものが、支部長である私が欠席してしまうという大ボカをしてしまいました。事務局や参加会員にご迷惑をおかけしたことに對して忸怩たるものがあります。以後はこのようなことがないように猛省、し意識の改善と併せ精進いたします。

● 新潟支部

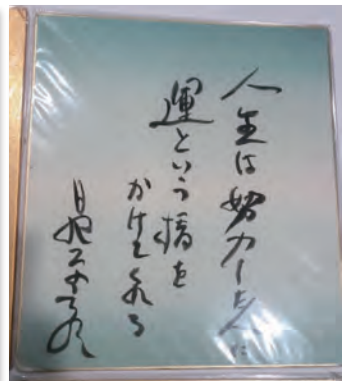
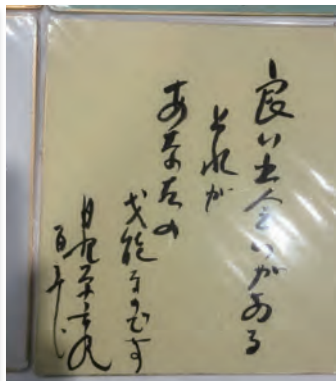
支部長 神田 美好

新潟支部は、正会員25社、賛助会員19社 計44社の会員で運営しております。
今年度は、理事会、定期総会、親睦ゴルフ大会、懇親会、研修会、忘年会を実施し、2月に賀詞交歓会を計画しています。また、市場の動向や会員皆様からの意見や要望に応じ、不定期な意見交換会を設け建設機械レンタル業界としてのあるべき姿を目指し、日々活発な意見交換・情報交換ができる場の提供を心がけています。以下、今年度の主な活動結果をご報告いたします。

【定期総会】

定期総会は、令和7年5月14日ホテルイタリア軒において17社27名の皆様に出席いただき、全ての議事について承認されました。

その後、講演会では、講師に「一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 顧問 大西金吾先生」をお招きし、「輝いて生きる。～笑い与健康～」という演題でご講演をいただきました。日本人の寿命が長くなっている今般、健康で豊かな人生を過ごすためには、免疫力を高める作用のある、日々の笑いが大切であるご指導いただきました。



【親睦ゴルフ大会&懇親会】

令和7年6月28日に13社18名の参加を頂き、紫雲ゴルフ倶楽部にて親睦ゴルフ大会を実施いたしました。あくまでも親睦目的という事より順位報告なしでの大会といたしました。ゴルフの後、会場を新潟東映ホテルに移し、親睦会を開催、ゴルフに参加されなかった方々からも参加いただき、14社20名で開催いたしました。

【研修会】

令和7年10月10日、新潟ユニゾンプラザにおいて営業員全般を対象とした「研修会」を23社41名の参加をいただき開催いたしました。

今回、新潟支部では講師「ピー・エムスリー 高橋英明先生」をお招きし「交渉力の強化」をテーマに研修を行いました。単なる座学ではなく、実際に「1対1」を想定したシミュレーションを行い、相対した実践的で緊張感ある講習となりました。これからの業界の課題である、レンタル価格の値戻し、付帯価格の上乗せ、休車対応など様々な場面でのヒントとなったのではないのでしょうか。



【忘年会および賀詞交歓会】

令和7年12月10日ホテルオークラ新潟において31社49名より参加いただき、忘年会を開催しました。また、令和8年2月12日に、新潟グランドホテルにおいて賀詞交歓会を実施予定です。

【今後の活動について】

あらゆる価格が上昇していることを踏まえ、更なるレンタル価格の適正化を図るとともに、DXによる働き改革や、各社社員の待遇改善のために、各社の取り組み紹介や意見交換をさらに活発化させ、会員各社の役に立つ協会となるよう図っていきたいと考えます。また関東ブロック理事会にもオブザーバー参加をして、定期的に意見交換を図り、会員各社に有用な情報開示に努めて参りたいと思います。

◎ 関西ブロック

ブロック長 姫野 康通

正会員、賛助会員の皆様、平素は協会運営にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。大変、感謝をしております。

さて、関西では昨年万博に始まり万博で収まった感が強く感じられ、今年になっても未だにミャクミャク君のマスコットが良く売れているとのこと。ただ万博終了後は止めていた大型工事が一斉に始まると聞いていましたが、然に非ず！我々の業界の数字は全く伸びていない様子。建設業界の出来高は平成バブルの数字にますます近づいているが、建機レンタルの出来高は非常に悪いです。原因は色々ある様ですが、そろそろ会員皆なが腹をくくる動きをすればどうか感じる今日この頃であります。

今年はひのえ午、60年に一度巡ってくる特別の年です。丙(ひのえ)とはエネルギーの象徴、午(うま)は前進する行動力の象徴と言われており、とにかくエネルギーの強い年。資格を取るなど新しいコトにチャレンジするには最高の年となっております。流れを変えるのは今です。今後関西についてはIRやそれに付帯する工事案件が山積みです。不毛な競争に終始するのではなく、「協会」の意味をしっかりと理解して腹をくくった仕事をしましょう！もっともっと儲けましょう！儲ければ若手社員も一杯入社されます。国のGDPも増えます！三方良しの良いコトだらけです。会員皆様の御健闘を御祈り致します。

○ 関西ブロック

- ・ 4/2～4 国家資格建設機械整備技能士1級、2級実技試験講習会
- ・ 6/4 関西ブロック総会 (東大阪市クリエイターズプラザ)
- ・ 6/4、9/9、R8.1/30、3/12
関西ブロック理事会 (東大阪市クリエイターズプラザ、ホテルモントレ大阪)
- ・ 10/27 講演会「標準積算の考え方」 (東大阪市クリエイターズプラザ)
日本建設機械施工協会 業務執行理事岩見吉輝氏による
- ・ 5/28、7/26、12/10、R8.3/12
各県代表者会議 (関西ブロック事務局、オンライン会議)
- ・ 9/26 本部事務局会議 (オンライン会議)
- ・ R8.1/30 関西ブロック賀詞交歓会 (ホテルモントレ大阪)
- ・ 7/23、R8.2/4
関西ブロック支部事務局会議 (関西ブロック事務局)

以下・各支部 報告

● 大阪支部

支部長 姫野 康通

大阪支部では、例年多くの行事を開催しておりますが、今回は会員各社の福利厚生を考え、夏に地引網を開催、約140名の参加となり大変盛り上がり特に子供さんがよく楽しんでおられました。今後も福利厚生に役立つ行事を考えたいと思います。

事業報告

- ・ 5/22 大阪支部総会 (ホテルモントレグラスミア大阪)
- ・ 7/14、10/7、R8.2/9 広域定例会 (ホテルモントレグラスミア大阪)
- ・ 6/24～26 大阪支部研修旅行 (九州)
- ・ 11/17、R8.3/5 ゴルフコンペ (有馬カンツリー倶楽部、瀬田ゴルフコース北コース)
- ・ 11/25 国交省講演会、賛助部プレゼン会 (ホテルモントレグラスミア大阪)
- ・ 12/5、R8.3/11 役員理事会 (ほかホテルでの各事業開催日にも役員理事会開催)

(一社)日本建設機械レンタル協会 関西ブロック大阪支部

『建設DX講習会』並びに『賛助会員プレゼン会』開催

大阪支部(支部長 姫野康通氏)は、11月25日(火)ホテルモントレグラスミア大阪に於いて国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所副所長 阪井千寿子様を招き『インフラ分野におけるDX』について講習会を開催しました。続いて賛助会員10社による『自社商品の省力化への取組及びDX』のプレゼンテーションを行い、今回は情報システム分野など幅広い分野の賛助会員にも登壇いただき、教育部会長津村氏の司会進行のもと総勢100名の出席となりました。来賓の阪井様からは、建設人口の減少と高齢化問題に対し、省人化・省力化・DX推進の講話があり、建設分野に欠かせないレンタル会社とその機械メーカーの取組について賛辞を頂き、更に交流を深め建設業界全体の発展に繋がっていきたいとお言葉を頂きました。

阪井様には懇親会にも参加頂き、会員各社との交流を楽しみ「メーカー各社とお話しする機会を頂き非常に勉強になりました」とのお言葉を頂戴し、参加者全員が和気あいの雰囲気の中で終宴となりとても有意義な会となりました。



建設DX講習会

● 兵庫支部

支部長 **吉江 雅彦**

事業活動報告

- ① 支部総会 2025年 5月 9日 ANAクラウンプラザホテル神戸
- ② ブロック関連
 - ブロック総会 2025年 6月 4日 東大阪市クリエイターズプラザ
 - ブロック代表者会議 2025年 5月28日 関西ブロック事務局

	2025年 8月27日	WEB
	2025年12月10日	大阪市立総合生涯学習センター
ブロック理事会	2025年 6月 4日	東大阪市クリエイターズプラザ
	2025年 9月 9日	東大阪市クリエイターズプラザ
ブロック事務局会議	2025年 7月23日	関西ブロック事務局
③ 事業活動		
・ 総会・懇親会	2025年 5月 9日	ANAクラウンプラザホテル神戸 総会67名懇親会78名参加
・ ゴルフコンペ	2025年 4月10日	六甲国際ゴルフ倶楽部 35名参加
・ 役員会	2025年 5月 9日	ANAクラウンプラザホテル神戸
	2025年 7月 2日	神戸振興センター
	2025年 8月22日	神戸ポートピアホテル
	2025年 9月22日	楠公会館
	2025年12月12日	神戸神仙閣
・ 納涼会	2025年 8月22日	神戸ポートピアホテル 140名参加
・ 研修旅行	2025年11月21・22日	三重・愛知方面 35名参加
・ 忘年会	2025年12月12日	神戸神仙閣 87名参加

事業予定

役員会	2026年 2月10日
ゴルフコンペ	2026年 4月
総会・懇親会	2026年 5月 8日
納涼会	2026年 8月28日
研修旅行	2026年11月
忘年会	2026年12月

和歌山支部

支部長 **角口 孝幸**

令和7年度 事業報告

・ 4/16	実務者会議	(協会事務所)
・ 4/25	理事会・第15回通常総会・懇親会(優良従業員表彰)	(パローム紀の国)
・ 5/ 9	実務者会議	(協会事務所)
・ 5/14	理事会	(協会事務所)
・ 6/12	ボーリング大会準備	(協会事務所)
・ 6/15	親睦ボーリング大会 70人参加	(紀ノ川ボウル)
・ 7/10	実務者会議	(協会事務所)
・ 7/11	実務者交流会 40名参加	(シーサイドガーデン和歌山)
・ 8/ 6	打合せ会議	(協会事務所)
・ 9/ 5・6	実務者視察研修旅行	(名古屋)
・ 9/10	理事会	(協会事務所)

- ・ 10/2・3 懇親旅行 (博多)
- ・ 11/21 理事会・リーダー育成研修会・懇話会(プレゼン)・懇親会 (ホテルエクシブ白浜)
- ・ 11/22 ゴルフコンペ 27名参加 (白浜ゴルフ倶楽部)
- ・ 12/5 実務者忘年会 (わくら和歌山)
- ・ R8.1/16 理事会・新年会 (木曽路)

【実務者交流会】

実務者間の更なる交流を図る目的で、初めて実務者交流会を実施しました。40名が参加し、BBQをしながら会話も弾み、お互いの親睦を深める事ができました。

【令和6年度実務者視察研修旅行】

和歌山支部では今年は名古屋方面への一泊旅行を実施しました。ユアサ商事グループが主催する300社を超えるメーカーの最新商品・最新技術を一堂に展示。「労働生産性向上(自動化/省力化/労働環境改善)」「エネルギーコスト削減(省エネ/再エネ)」「BCP・危機管理(防災・減災/安全・セキュリティ対策)」のテーマを中心としたソリューションが多数展示され、また「AIナビゲーション」によるおすすめ商品の提案などもあり、変わる時代をチャンスにする変革の波を捉え、未来を切り拓くヒントが散りばめられた展示内容でした。また研修後は名古屋にて宿泊し、トヨタ産業記念館を訪れる時間もあり、会員相互の親睦交流を図ることができた有意義な研修でした。

【令和7年度リーダー育成研修会】

11月21日(金)ホテルエクシブ白浜において、GM.institute株式会社 阪本学氏を講師に迎え『リーダーとマネージャー』と『リーダーシップとマネジメント』といった、似て非なる概念を明確にし、それぞれの異なる役割を理解することで、各々の組織における管理の最適解を見出すことを目的とした管理職研修を開催しました。また、資本主義社会において永遠のテーマでもある『価格競争のダイナミズム』と『適正価格の堅持』について、売り手と買い手の視点から読み解くトピックスについてのお話があり、非常に興味深い内容でした。



名古屋グランドフェアの展示会

● 京都支部

支部長 村上 京太郎

・ 3月 理事会

● 滋賀支部

支部長 蔭山 啓介

令和7年度研修旅行

滋賀支部では日帰りの研修旅行として、10月24日(金)に大阪市の(株)生産技術パートナー様を訪問しました。昨年度からこれまでのメーカ見学による研修会とは趣向を変え、社会に対する視野を広げることを目的としています。今回は溶接技術、および溶接関連商品を(株)生産技術パートナーの徳留氏に講義いただき、販路拡大の足掛かりを掴めました。また今後、若手社員の知見を深めるための研修にご協力いただくことになりました。研修後は天王寺公園へ移動し、「てんしばバーベキューテラス」にて昼食をとった後、大阪散策へそれぞれで向かいました。会員、賛助会員合わせて26名に参加頂きました。新たな研修旅行の取り組みでしたが、会員相互の交流を図ることができ、有意義な研修でした。



令和7年度リーダー育成研修会

12月12日(金)ホテルニューオウミにおいて、横浜国立大学豊穡な社会研究センター 元気なインフラ研究所 所長 松永昭吾 氏を講師に迎え「社会インフラを支える ～レンタル業が担う役割～」と題した研修会を開催しました。九州産業大学教授(非常勤)、インフラ・ラボ代表取締役という肩書の松永氏は国内外において橋の設計・維持管理、および地震/噴火/豪雨災害等の災害調査・復旧計画を専門とする土木技術者、研究者で、大学、行政機関等において教授・講師をつとめておられます。昨年度に引き続き講師をお願いし、埼玉県八潮市の道路陥没事故の事例から社会インフラの課題に対し、建機レンタル業が果たす公共的役割について講演いただきました。老朽化するインフラに対しレンタル業が担う役割や公共性は非常に興味深い内容でした。会員、賛助会員57名の出席、そのあと懇親忘年会が開催されました。



以上

◎中国ブロック

ブロック長 日笠 保彦

平素は、中国ブロックの活動にご理解・ご協力頂きまして深く感謝申し上げます。また全国の正会員、賛助会員の皆様には日頃より多大なるご支援、ご協力いただき深く感謝しております。

今年度の第3回理事会は、博多での出張開催となり、理事会後に理事役員、山口会員と賛助部会会員による懇親会及び親睦ゴルフを実施しました。開催に当たり山口地区部会の皆様には大変お世話になり、理事会、懇親会、親睦ゴルフの手配・準備をして頂きました。

【理事会】

開催日：2025年11月6日(木) 15:00~17:00

場 所：アクア博多

参加者：理事役員15名 山口会員8名 合計23名

【懇親会】

開催日：2025年11月6日(木) 18:00~20:00

場 所：もつ鍋 やま中 赤坂店

参加者：理事役員14名 山口会員9名

賛助会員29 合計52名

理事会終了後、賛助部会の皆様にご参加いただき、毎年恒例の懇親会と親睦ゴルフを開催することができました。

懇親会は、理事役員と山口地区の正会員様、賛助部会の皆様にご多数参加していただき盛大に行なうことができました。

【理事会】



理事会風景

【懇親会】



乾杯



会場風景

【親睦ゴルフ】

開催日：2025年11月7日(金)

場 所：志摩シーサイドCC

参加者：理事役員9名 岡山会員3

賛助会員15名 合計27名

懇親会翌日の11月7日に親睦ゴルフ大会を開催しました。

当日は、穏やかな晴天で、参加頂いた皆さまにとっても楽しんで頂いたのではないかと思います。



ゴルフ参加者

◎ 四国ブロック

ブロック長 門田 徹也

平素より四国ブロックの活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

四国においては、全国平均を大きく上回るペースで人口減少と高齢化が進んでおり、大きな社会課題となっています。また、コストプッシュ型インフレによる厳しい経済環境の中で、私たちの業界も大きな変化の時期を迎えております。価格転嫁の推進や付加価値の向上、差別化への取り組みを進めていくことが、市場の活力を維持し、優秀な人材の確保や、顧客が求める省人化・生産性向上への貢献につながるものと考えております。過度な競争による業界全体の衰退に陥ることなく、健全な市場環境を維持していくことが重要です。本年度も各行事を通じて連携を深めながら、業界の持続的な発展に向けて取り組んでまいります。

さらに、南海トラフ地震等の大規模災害への備えも四国にとって重要な課題です。実効性ある体制づくりに向け、関係各位との協力を一層深めてまいりたいと存じます。

社会から必要とされ続ける業界であるために、今後も着実に歩みを進めてまいります。引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○主な活動紹介

【総会(75名)、役員会(3回)、理事会(5回)、賀詞交換会(76名)】



役員会



総会



懇親会

【県部会】

徳島県部会 令和7年6月24日(火) 徳島ワシントンホテル(48名)



高知県部会 令和7年9月30日(火) 高知会館(48名)



香川県部会 令和7年7月12日(火) 高松国際ホテル(46名)



愛媛県部会 令和8年3月10日(水) ネストホテル松山

【官公庁との連絡・協議会】

徳島県	令和7年10月2日、10月17日、10月30日	防疫(鳥インフル、豚熱)対策についての協議会・講習及び演習
国土交通省	令和7年10月1日	四国道路啓開協議会 全体WG
	令和7年11月17日	四国道路啓開協議会 全期間実務者WG
	令和7年12月22日	四国道路啓開協議会 全期間実務者WG
	令和8年1月20日	四国地方整備局・四国ICT施工活用促進部会
	令和8年3月5日	四国道路啓開協議会 全体WG
香川県	令和8年2月9日	香川県のICT活用工事支援連絡協議会

【講演会】 ※賀詞交換会にて

令和8年1月28日 テーマ「南海トラフ地震に備える」 高松国際ホテル(71名)
講演 四国電力(株)・四国電力送配電(株)様

◎九州ブロック

ブロック長 峰平 国生

九州ブロックの令和7年度の活動についてご報告いたします。

以前の活動内容でも紹介しておりましたが、九州ブロックの事業活動は委員会活動を中心に行っております。総務委員会、広報委員会、教育委員会、流通委員会の4つの委員会があり、それぞれが企画、検討した内容を事業として行っております。今回は特に教育委員会と流通委員会の活動をご紹介します。

【教育委員会】

例年、会員向けの教育、セミナーなどを企画しています。令和5、6年度はレンタル原価について考える機会を設けたいという方針でセミナーを実施し、いくつかの支部でも行いました。

今年度は、我々の業界の将来について考える機会を作りたいという考えで「人口動向からみた建設業界の10年後、20年後について」というテーマで木下先生(前福岡大学教授・元佐賀市長)に講演をしていただきました。

さまざまなデータを時系列で提示いただき出生率、外国人、地元経済などについて考える機会となり、またAIをどう生かすかなど普段考えていない視点からのお話もいただきました。

できるだけ多くの会員の方に聞いていただけるようにと、九州ブロックとして初めて集合制に加えてWEBによる配信も行うハイブリッド型で行いました。一部うまく動作しなかった部分もありましたが無事行うことが出来、今後に活かすことができると考えています。

セミナー終了後は、先生も交えて懇親会を開催しています。



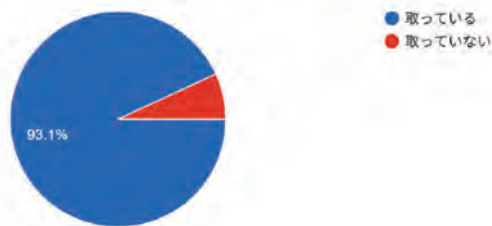
【流通委員会】

流通委員会として何を行うかという事が毎年課題になってはいるのですが、ここ3年間は賀詞交歓会の前に「情報交換会」を開催しています。これは、参加いただいた会員の方に5、6名の小グループに分かれていただき、そこで会社の課題や普段疑問に思っていることなどをお互いに語り合っていたらこうというものです。テーマとしては事前にいくつか挙げて話し合っていたかのようにしていますが、今年度は4つのテーマで事前にブロック内の会員の方にアンケートを行い、その内容も含めて話し合っていたかのようにしました。アンケート内容は、①付帯請求項目について請求出来ているか、②原価の値上がりに対して価格転嫁できているか、③ICTの取組状況、④労働力不足に関しての4つの内容で、これは流通委員会で話し合っていて決めています。

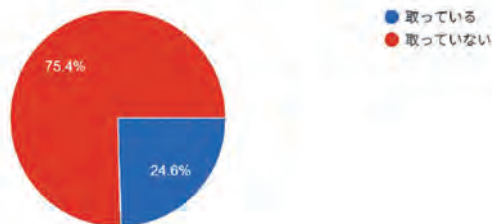
※アンケートについて少しだけ内容を紹介します。実施はWEBで行い6割程度の会員から回答を頂きました。

以下は回答集計の一部サンプルです。

質問1 付帯請求項目について以下の品目を請求し...①貸渡し日数に準じて請求するもの 1. 補償料
58件の回答



2. 環境対策費
57件の回答



グループごとに優先テーマを割り振って話し合いをしていただき、最後に各グループから簡単に情報共有していただく形で実施しました。具体的にこの問題を解決しようというものではありませんが、他の会社ではどう取り組んでいるのか、こんなやり方もあるのかという気付きを持って帰っていただけるということで、実施後のアンケートでは全般に好評価をいただいています。

流通委員会としては本部の取組なども参考にしながら活動内容を考え、会員みなさんの参考になることを行っていく予定です。



来年度も委員会を中心とした形で事業を進めていきたいと考えておりますが、よりよい進め方、考え方など他ブロック、支部からもアドバイスなどいただけましたら幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

◎ 沖縄ブロック

ブロック長 佐久本 嘉幸

○ブロック理事会

会員の近況報告や相互の情報交換を目的に、各行事の開催内容、各規定等の改定事項等の協議や、総会開催前の事前協議、関係団体との会議等の報告を行うために原則、毎月1回開催しています。

○第12回ブロック定期総会(令和7年5月21日)

2024年度事業報告承認の件、2024年度決算報告承認の件、2025年度事業計画(案)に関する件、2025年度予算(案)に関する件について審議され承認されました。

○勉強会(令和7年9月26日)

集合形式で以下のとおり開催しました。

参加対象者：経営者・経営幹部・各管理者

参加人員：26名

講師：安里 和恭 氏(安里公認会計士事務所、公認会計士・税理士)

講演内容：「レンタル業界における決算書の評価」

○おきなわ建設フェスタへの参加

次世代を担う子供とその保護者等に、建設産業の役割と魅力、さらに大規模災害への対応等について、正しく理解していただくことを目的に開催されました。

レンタル協会としては、ミニ油圧ショベル実機体験コーナーを3か所設置し、各6名のスタッフで運用しました。



建設機械の体験試乗状況

オムライスの起源は？

オムライスと言えば、ケチャップライスに卵(オムレツ等)が乗っているまたは包まれている日本では洋食の定番として、各家庭やレストランなどで人気のメニューとして知られていますよね。

それでは、オムライスの起源について、考察してみましょう。

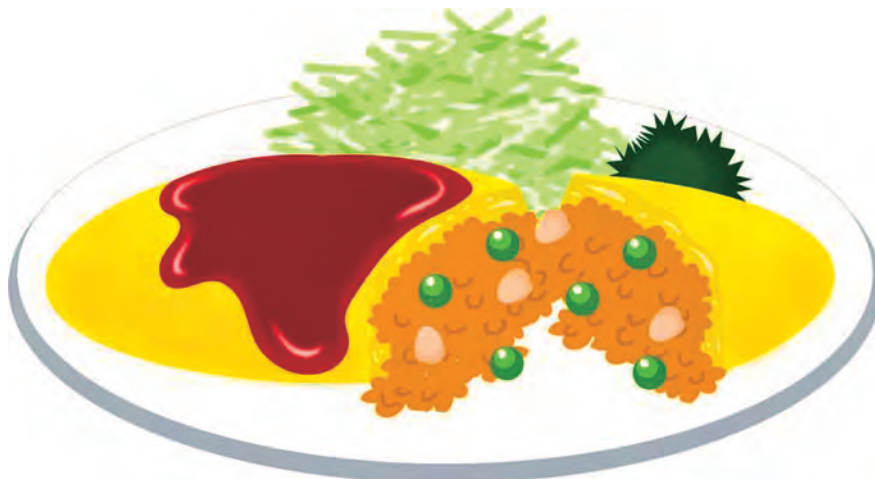
オムライスの発祥は、海外ではと思いきや、実は日本…。

「オムライス発祥の店」を自称する店はいくつかありますが、東京の「煉瓦亭」、大阪の「北極星」の2説が有名です。

「煉瓦亭」のオムライスは、1900年(明治33年)に賄い料理として誕生しました。溶き卵にご飯とみじん切りの具材、調味料を入れて焼いたもので、現在一般的に認知されているオムライスとはちょっとちがったスタイルのものでした。繁忙な厨房でもスプーン一つで食べられるようにと考案されたものです。お客さんがぜひ食べてみたいと要望したため、翌1901(明治34)年より「ライスオムレツ」という名称でメニューに載せるようになり、現在も「元祖オムライス」という名前で提供されています。報知新聞に1903(明治36)年から掲載された村井弦斎の小説『食道楽』には「米のオムレツ」として、煉瓦亭のライスオムレツによく似た料理が掲載されています。なお、現在の「元祖オムライス」は、トマトケチャップをかけた状態で提供されていますが、トマトケチャップが日本で普及するのは1908(明治41)年以降であるため、当時のライスオムレツにトマトケチャップは使用されていませんでした。

一方、「北極星」のオムライスは、ケチャップライスを薄焼き卵で包んだ、現在一般的となっているスタイルのもので、1925(大正14)年に大阪市難波の汐見橋にあった大衆洋食屋「パンヤの食堂」(「北極星」の前身)の店主であった北橋茂男氏が、いつもご飯とオムレツを注文していた胃の弱い常連客に「毎日、同じものばかりではかわいそうだ。」とケチャップライスと薄焼き卵で包んだものを提供し、「オムライス」と命名したとされています。

現在では、さまざまなバリエーションのオムライスがありますが、今後も美味しい洋食として、オムライスは、人々から愛される料理として多くの人々に親しまれていくことでしょう。



For Earth, For Life
Kubota

クボタミニバックホー

U17-5

安定性と快適性を追求し、 幅広い現場で活躍できるミニ建機



装備・機能・メンテ性の総合強化 安全性・快適性の進化



オートアイドルを搭載



エッジ付きブレード



高い居住性

株式会社クボタ建機ジャパン

<https://kubotakenki.co.jp>



北海道営業部 TEL.011(377)5511
東北営業部 TEL.022(384)2144
関東第1営業部 TEL.049(256)2552

関東第2営業部 TEL.044(860)5505
中部営業部 TEL.0586(73)1235
関西営業部 TEL.072(781)7715

中国営業部 TEL.0823(72)0233
四国営業部 TEL.0877(98)0277
九州営業部 TEL.092(719)1565

壁を越える、原動力。

Denyo

エンジン発電機

発電機の運転状況とCO₂排出量を見える化！

発電機の稼働状況を見える化！ **運転データ記録機能**

CO₂排出量を見える化！ **CO₂排出モニター**

運転可能時間表示付
カーボン除去推奨アラーム



NETIS登録製品
KT-220063-A



運転可能時間と
CO₂排出量を見える化！



DCA-60LSIE 運転データ記録機能付仕様

図書館内並みの圧倒的な低騒音を実現！

静音発電機 **Mālie**
マーリエ

驚異の低騒音
43dB(A)*

*音圧レベル・50Hz 無負荷時



DCA-25MZ

背負式バッテリー溶接機

リュックサック感覚でラクラク運べて、
しっかり溶接作業！

WELZACK BDW-120BP



GOOD DESIGN
AWARD 2025

BDW-120BP



エンジン溶接機

アイドリングストップで
CO₂排出量を約50%削減

IDLING STOP



ガソリンエンジン
GAW-190ES2



ディーゼルエンジン<2人用>
DLW-200x2LSE

スプリットライト投光機

リチウムイオンバッテリー搭載により
点灯中のCO₂排出量をゼロに抑えます。



着脱式のリチウムイオン
バッテリー搭載



操作パネルで点灯可能時間や
バッテリー残量を表示します。



PL-241SLB



エンジンコンプレッサ

アフタクーラドレン水の
排水処理不要！



現場に応じて思いのまま！
可変圧・可変容量システム

0.01MPa 単位で吐出圧力を
設定できます！



アフタクーラタイプ
DAS-100LBE-C



ドライエアタイプ
DIS-200VPS-D

デンヨー株式会社

本社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5
TEL:03(6861)1122 FAX:03(6861)1182

札幌営業所 011(862)1221 東北営業所第1課 019(647)4611 東北営業所第2課 022(254)7311 信越営業所 025(268)0791
松本出張所 0263(86)0226 北関東営業所 027(360)4570 東京支店 03(6861)1122 千葉営業所 0436(23)1141
横浜営業所 045(774)0321 静岡営業所 054(261)3259 名古屋営業所 052(856)7222 金沢営業所 076(269)1231
大阪支店 06(6488)7131 広島営業所 082(278)3350 岡山出張所 086(201)2791 高松営業所 087(874)3301
九州営業所 092(935)0700 鹿児島出張所 099(278)1300 沖縄出張所 098(878)2725

SAKAI
MASTERS OF COMPACTION

安全性と作業性を両立させた
緊急ブレーキ装置

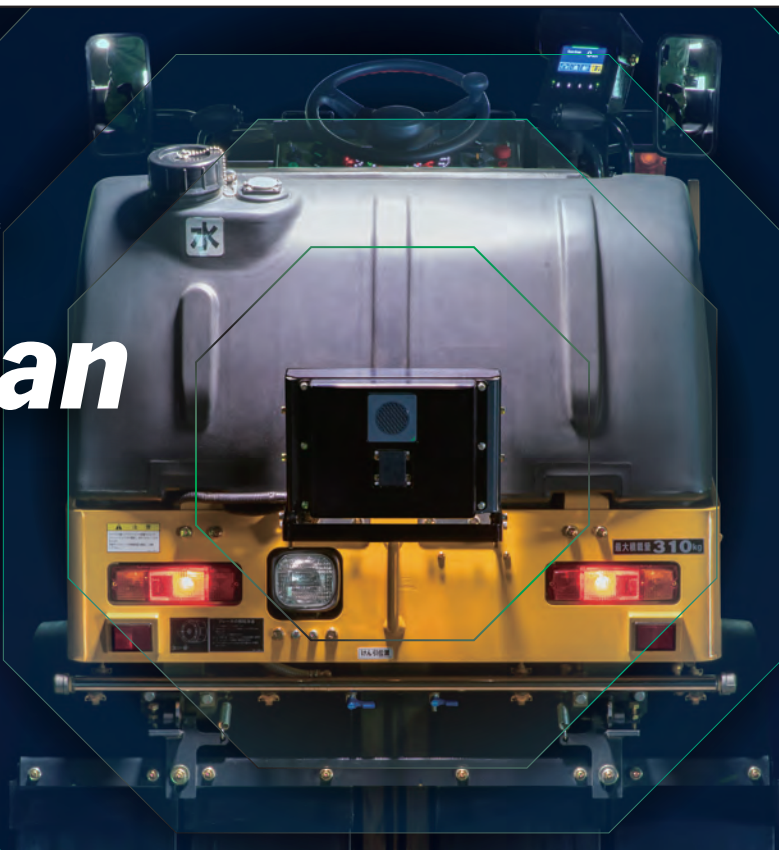
Guardman

緊急ブレーキ装置付 コンバインド振動ローラ

TW504・354
Guardman

緊急ブレーキ装置付 タンデム振動ローラ

SW504・354
Guardman



TZ704 / R2-4
TS160-3 / GW754
Guardman



ホールド・ツウ・ラン仕様 ハンドガイドローラ

HV520・620 / HV58
Guardman



詳しい内容は
YouTubeへ



電動ハンドガイドローラ

Hvevo

電気で
脱炭素



詳しい内容は
YouTubeへ



NETIS SAKAIのさまざまな製品は、NETIS(新技術情報提供システム)にエントリーされています。

酒井重工業株式会社
www.sakainet.co.jp

お問い合わせ、資料請求はdmsales@sakainet.co.jpまで

本社 ☎03-3434-3401(代)

札幌 ☎011-846-8455

仙台 ☎022-231-0731

関東第一 ☎0480-52-6156

関東第二 ☎0480-52-6156

名古屋 ☎052-702-3141

大阪 ☎072-654-3366

広島 ☎082-227-1166

福岡 ☎092-503-2971



1.8トンバインドローラ

KV15CS



新発売

4tタイヤローラ

KT40S



センターピストン
新発売

3tタイヤローラ

KT30S



【超低騒音型建設機械】

【第3次基準値排出ガス対策型】

コンバインド型



KV25CS
KV40CSE
KV40CSI

タンデム型



KV25DS
KV40DSE
KV40DSi

【超低騒音型建設機械】

【第3次基準値排出ガス対策型】
KV40CSE, DSE/KV25CS, DS/KV15CS

【特定特殊自動車排出ガス 2014年 基準適合車】
KV40CSI, DSI

ハンドガイドローラ

H600KS/H650KS
H550KS

超低騒音型



【超低騒音型建設機械】

●陸内協排出ガス自主規制2次規制適合エンジン搭載

クローラ洗浄機 CW200



人手の掛からない自動洗浄ロボットにより重機
足回りの洗浄費用が大幅低減!!

KANTO

関東鉄工株式会社

本社・工場
〒306-0127
茨城県古河市下片田852-4
TEL: 0280-77-0081
FAX: 0280-77-0080

<https://www.kanto-tk.co.jp>

最新ニュースはこちらから ▶



株式会社 **ワイズマン**

日本建機レンタル総合補償制度 幹事代理店 (※)

(※) 以前の幹事代理店でした株式会社ゼンケンと合併し、2023年4月より新たに幹事代理店となりました。

賠償責任保険 動産総合保険 自動車保険 その他各種損害保険 生命保険

企業も個人も
守いがあるから攻められる!
いつも近くに「ワイズマン」

(東京支店) 〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町1丁目4番1号 内山ビル2F

TEL03-5623-6455 FAX03-5623-6488

(横浜本社) 〒231-0041

神奈川県横浜市中区吉田町72番地 サリュートビル5F

TEL045-243-5400 FAX045-243-5333



屋内作業を革新する
バッテリー駆動式 高所作業車

WU09B1RN

障害物をかわしての
アプローチが可能

起伏・旋回が可能な先端ジブによって
設備が密集した屋内現場でも快適な
作業を実現します。



RU09A1SM

広い走行作業範囲を実現

「作業間における車両移動を安全かつ効率的に
行いたい」という現場の声に応えて、作業姿勢に
おける安定度を確保しつつ、走行可能範囲を
最大限広く設定。車両移動のたびに発生する
ブーム格納の手間を低減し、安全で効率的な
現場作業をサポートします。



もっと人考えたい。— 作業環境創造企業。



株式会社 アイチ コーポレーション <http://www.aichi-corp.co.jp>

本社 〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の 1 ☎048-781-1111

Mikasa 
<http://www.mikasas.jp>



パイロンコンパクター
MVH-308DSC-PAS

街づくりを支える、
信頼の三笠品質。



タンピングランマー
MT-55H

NETIS No.KT-210039-VE



MVC-e60

超低騒音型
No.7070



MRH-e503

NETIS No.KT-210039-VE



MUV-Fe32S

NETIS No.KT-210039-VE



MT-e55

三笠産業株式会社
MIKASA SANGYO CO., LTD. TOKYO, JAPAN

本社 / 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-4-3 TEL: 03-3292-1411 (代)

大阪支店 TEL: 06-6745-9631
札幌営業所 TEL: 011-892-5920
仙台営業所 TEL: 022-238-1521
新潟出張所 TEL: 090-4066-0661

北関東営業所 TEL: 0276-74-6452
長野出張所 TEL: 080-1059-2116
中部営業所 TEL: 052-504-3434
金沢出張所 TEL: 080-1013-9542

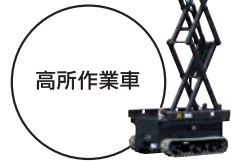
中国営業所 TEL: 082-208-1080
四国出張所 TEL: 087-868-5111
九州営業所 TEL: 092-431-5523
南九州出張所 TEL: 090-7394-7395

沖縄出張所 TEL: 090-7271-3352

We are the POWER.

これからは、一人ひとりがAIRMANです。

AIRMAN



リース・レンタルをお考えなら、信頼と実績の「AIRMAN」をご指定ください。



株式会社AIRMAN

東京本社
営業本部 〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル8階
TEL:03-3348-8563 FAX:03-3348-7241

ホームページ
<https://www.airman.co.jp>

北海道支店 011(222)1122 新潟営業所 0256(97)3707 沖縄営業所 098(879)3311 中部支店 0586(77)8851 高松営業所 087(841)6101 九州支店 092(504)1831
東北支店 022(258)9321 東京支店 03(3348)8563 西関東支店 042(700)5020 金沢営業所 076(233)1152 中国支店 082(292)1122 南九州営業所 0995(62)4166
北関東支店 027(347)5612 千葉営業所 043(223)1092 静岡営業所 054(264)1512 大阪支店 06(6349)3631

TADANO

最高のパフォーマンスを 発揮する製品ラインアップ。

安全・品質・効率を追求し
みなさまのニーズにお応えします。



NEW AS-21PC/AS-21PCN
(NUS21/N-7)
最大作業床高さ：20.9m
最大作業半径：17.8m
定格荷重：250/450kg
機械質量(バッド付)：16.75(17.17)t



ZX304
最大地上揚程：約11.4m
最大作業半径：9.8m
つり上げ荷重：2,930kg



NEW BT-300
最大地下深さ：5.2m
最大地上高：7.7m
最大作業半径：5.7m
デッキ積載荷重：280kg



www.tadano.co.jp

株式会社 タダノ

本社 香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555(代表)
東京オフィス 東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1(KANDA SQUARE 18階)
TEL.(03)6811-7298

北海道支店 011(861)9030 東京支店 03(6661)8320 中国支店 082(884)0255
東北支店 022(288)5550 中部支店 0586(76)1181 九州支店 092(503)7821
北陸支店 076(436)1555 関西支店 072(221)2727
関東支店 048(780)7711 四国支店 087(839)5777

タダノ

検索

協会役員名簿 (令和7年度)

2026年1月23日現在

役 職	氏 名	所 属 先	ブ ロ ッ ク 等
会 長 (代表理事)	倉内 広昭	エスケーリース株式会社	北海道
副 会 長	小沼 直人	株式会社アクティオ	広域
副 会 長	小松崎伸一郎	小松崎機械株式会社	関東
副 会 長	瀧 哲也	瀧富工業株式会社	中部
副 会 長	佐久本嘉幸	株式会社佐久本工機	沖縄
専務理事 (業務執行理事)	宇佐 俊範	一般社団法人日本建設機械レンタル協会	本部
常務理事	清水 浩信	一般社団法人日本建設機械レンタル協会	本部
常任理事	富山 政紀	日本建機サービス販売株式会社	北海道
常任理事	久保田栄二	北辰通商株式会社	東北
常任理事	福山 慎一	双葉リース株式会社	関東
常任理事	花岡 昇	フジヤ機工株式会社	関東
常任理事	川下 五継	川下建機工業株式会社	北陸
常任理事	姫野 康通	株式会社NISSHO	関西
常任理事	日笠 保彦	三共リース株式会社	中国
常任理事	門田 徹也	株式会社東部レントオール	四国
常任理事	峰平 国生	株式会社森谷リース	九州
常任理事	橋口 和典	株式会社カナモト	広域
常任理事	渡邊 裕樹	コマツカスタマーサポート株式会社	広域
常任理事	中野 浩二	西尾レントオール株式会社	広域
常任理事	荒金 秀一	日立建機日本株式会社	広域
常任理事	山口 剛	株式会社レンタルのニッケン	広域
理 事	山本 健吉	コミュニケーション・リンク株式会社	東北
理 事	後藤 一弘	後藤機械株式会社	東北
理 事	森田 康弘	株式会社宇建	関東
理 事	中川 秀敏	株式会社ジェイ・ピー・エス	関東
理 事	原田 英雄	株式会社アールアンドアール	関東
理 事	松岡 賢	マツオカ建機株式会社	中部
理 事	神田 美好	ジー、エム建機リース株式会社	北陸
理 事	蔭山 啓介	滋賀建機株式会社	関西
理 事	桐月忍一郎	株式会社カンキ	関西
理 事	角口 孝幸	株式会社キナン	関西
理 事	永島 一平	熊本中央リース株式会社	九州
理 事	加治 亮一	株式会社カネイチ	九州
理 事	中川 浩二	コベルコ建機トータルサポート株式会社	メーカー

役 職	氏 名	所 属 先	ブ ロ ッ ク 等
理 事	地口 徹	住友建機販売株式会社	メーカー
理 事	柴山 眞弘	株式会社クボタ建機ジャパン	メーカー
理 事	酒井 一郎	酒井重工業株式会社	メーカー
理 事	辻本 治	株式会社鶴見製作所	メーカー
理 事	吉永 隆法	デンヨー株式会社	メーカー
理 事	長沢 徳己	株式会社AIRMAN	メーカー
理 事	京谷 弘也	三笠産業株式会社	メーカー
理 事	縄田 英樹	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会	関係団体
理 事	岩見 吉輝	一般社団法人日本建設機械施工協会	関係団体
理 事	佐藤二三男	一般社団法人日本建設機械工業会	関係団体
監 事	関野 耕一	株式会社ワキタ	広域
監 事	加藤 浩孝	株式会社トーメイ	関東
監 事	加藤 義久	税理士法人日本みらい会計	公認会計士
相 談 役	気田 福俊	株式会社日商	東北
相 談 役	角口 賀敏	株式会社キナン	関西
相 談 役	仲田 優晴	喜多機械産業株式会社	四国
参 与	中村 昭芳	北新機材株式会社	東北
参 与	小川 薫	株式会社トラスト	東北
参 与	佐藤 一彦	株式会社イブキ産業	東北
参 与	小野寺啓一	株式会社高千穂	東北
参 与	金子眞紀子	金子機械株式会社	関東
参 与	白澤 照久	シラサワ建機株式会社	北陸
参 与	吉田 博明	株式会社吉田商会	北陸
参 与	村上京太郎	株式会社京都鉄工	関西
参 与	河原 健志	水電リース株式会社	中国
参 与	喜多 真一	喜多機械産業株式会社	四国
参 与	谷 修治	讃岐リース株式会社	四国
参 与	財前 基治	国東重販株式会社	九州
参 与	森実 英文	株式会社キング	九州
参 与	小川 裕史	株式会社九レンリースサービス	九州
参 与	北條 雅己	一般社団法人日本建設機械レンタル協会	本部
参 与	河野 和久	新日本建販株式会社	広域
参 与	瀧山 実	ユナイト株式会社	広域
参 与	櫛谷 美佳	日本キャタピラー合同会社	広域
参 与	目黒 敦	ヤンマー建機株式会社	メーカー
参 与	篠原 浩実	ユアサ商事株式会社	メーカー
参 与	水谷 宣之	株式会社ワイズマン	保険
特別顧問	鶴保 庸介	参議院議員	自由民主党

協会支部一覧

2026年3月現在

ブロック ・支部名	ブロック長 ・支部長名	事務局長	〒	所在地	TEL	FAX
					E-mail	
北海道ブロック ・北海道支部	倉内 広昭	田上 悟	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西6丁目1番23 北海道通信ビル3階313号室	011-221-1485	011-222-5612
					kenki-rent@hokkaido-cmla.com	
東北ブロック	久保田栄二	堀 宏	984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-5-1 仙台団地倉庫協同組合会館2F	022-238-1751	022-238-1752
					miya.k.l@io.ocn.ne.jp	
青森支部	中村 昭芳	上野 充	031-0071	青森県八戸市沼館1丁目20-11	0178-44-2085	0178-70-5516
秋田支部	小川 薫	田仲 和昭	010-1103	秋田県秋田市太平中関字平形111	uwano@k-nakayama.co.jp	
					018-853-1401	018-853-1402
岩手支部	佐藤 一彦	鈴木 勇一	028-3621	岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢10 地割504-1(株)備品レンタルセンター内	hrcnm549@ybb.ne.jp	
					019-614-0341	019-614-0351
宮城支部	山本 健吉	堀 宏	984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-5-1 仙台団地倉庫協同組合会館2F	jra.iwate2@gmail.com	
					022-238-1751	022-238-1752
山形支部	小野寺啓一	新関 秀一	994-0054	山形県天童市大字荒谷196-10	miya.k.l@io.ocn.ne.jp	
					023-665-5509	023-665-5518
福島支部	後藤 一弘	渡辺 陽一	963-0115	福島県郡山市南2-139(北辰通商(株)内)	ykrk@beach.ocn.ne.jp	
					024-954-6531	024-954-6532
関東ブロック	小松崎伸一郎	大森 達也	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYAビル2F	rentalfukushima@aroma.ocn.ne.jp	
					03-3255-0515	03-3255-0516
群馬支部	中川 秀敏	中川真悠子	379-2145	群馬県前橋市横手町38-1 (株)ジェイ・ピー・エス 高崎営業所内	BWA49721@nifty.com	
					027-212-8733	027-212-8774
栃木支部	森田 康弘	伊藤 義昭	320-0041	栃木県宇都宮市松原3-6-27 コーポ松原102	gkra@g-cra.com	
					028-612-8039	028-612-8037
東京支部	福山 慎一	大森 達也	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYAビル2F	iyougou@gmail.com	
					03-3255-0515	03-3255-0516
神奈川支部	金子真紀子	久保 圭史	221-0052	神奈川県横浜市神奈川区栄町2-10 アール・ケープラザ横浜Ⅲ1103	BWA49721@nifty.com	
					045-440-1116	045-440-1117
長野支部	花岡 昇	下村 剛司	399-3301	長野県下伊那郡松川町上片桐3322	kleaseky@maple.ocn.ne.jp	
					0265-49-8252	0265-49-8242
中部ブロック ・中部支部	瀧 哲也	渡邊 佳代	460-0008	愛知県名古屋市中区栄1-14-14 御園パレス302	naganojra@asahinet.jp	
					052-203-1657	052-203-1658
北陸ブロック ・北陸支部	川下 五継	沢崎 孝一	913-0046	福井県坂井市三国町北本町3-9-27	zenkenjo@bronze.ocn.ne.jp	
					0776-50-2450	0776-50-2650
新潟支部	神田 美好	佐藤亜希子	950-0951	新潟県新潟市中央区鳥屋野326 (株)新潟まるよし内	kensetsu-rent@videw.com	
					025-378-0671	025-378-0672
関西ブロック	姫野 康通	田原 美春	577-0022	大阪府東大阪市荒本新町4番13号 サンリットビル5F A号室	znknight@gmail.com	
					06-6618-7400	06-6618-7401
滋賀支部	蔭山 啓介	岩下絹穂子	524-0013	滋賀県守山市下之郷3-14-25 第一観光ビル2F	znkosk@gmail.com	
					077-581-0481	077-558-8007
京都支部	村上京太郎	村上京太郎	601-8134	京都府京都市南区上鳥羽大溝2 (株)京都鉄工内)	shiga-cmla@drive.ocn.ne.jp	
					075-661-0900	075-661-7552
大阪支部	姫野 康通	田原 美春	577-0022	大阪府東大阪市荒本新町4番13号 サンリットビル5F A号室	k-tetu-h@camel.plala.or.jp	
					06-6618-7400	06-6618-7401
和歌山支部	角口 孝幸	山本 浩子	640-8303	和歌山県和歌山市鳴神588-1 ソレーユ鳴神1F	znkosk@gmail.com	
					073-474-5789	073-474-1038
兵庫支部	吉江 雅彦	加藤みつぎ	650-0027	兵庫県神戸市中央区中町通3丁目1-8 ライオンズステーションプラザ神戸404号	warental@major.ocn.ne.jp	
					078-361-2481	078-361-2487
中国ブロック ・中国支部	日笠 保彦	城谷 昭成	733-0873	広島県広島市西区古江新町4-23 アルファ大田201号室	znkhyug@gmail.com	
					082-275-0532	082-275-0538
四国ブロック ・四国支部	門田 徹也	長尾 康敏	761-8072	香川県高松市三条町179番地1 ハイツ田中Ⅱ 101号	cyukenrentaru@oasis.ocn.ne.jp	
					087-802-8800	087-802-8801
九州ブロック ・九州支部	峰平 国生	藤井 正	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル6F	znkskk@gmail.com	
					092-482-6685	092-452-2563
沖縄ブロック ・沖縄支部	佐久本嘉幸	津嘉山 司	901-2134	沖縄県浦添市港川537-3 D'sマンション美ら花302号室	klr@klr-rental.jp	
					098-876-6410	098-894-3455
本部	倉内 広昭	宇佐 俊範 (専務理事兼任)	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYAビル2F	okirental@tea.ocn.ne.jp	
					03-3255-0511	03-3255-0513
					info@jra.or.jp	

編集後記

今回の発刊にあたり、国土交通省を始めとする多くの方々にご寄稿を頂きました。建機レンタル業に関わる重要事項が多く、ご寄稿者の皆様には重ねて御礼を申し上げます。

また、広告掲載にご協賛いただきました本部賛助会員の各社様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

会員の皆様方にとって希望の持てる1年になりますよう祈りつつ、引き続き当協会活動へのご協力ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

最後に会員の皆様の益々のご健勝とご隆盛を祈念申し上げます。

2026年3月

総務委員会 委員長 瀧 哲也

建機レンタル No.13 (通巻第82号) 広告掲載社

広告主名	掲載頁	広告主名	掲載頁
住友建機販売(株)	表2	(株)アイチコーポレーション	88頁
コベルコ建機(株)	1頁	三笠産業(株)	88頁
日本建設機械レンタル企業年金基金	39頁	(株)AIRMAN	89頁
(株)クボタ建機ジャパン	84頁	(株)タダノ	89頁
デンヨー(株)	85頁	ユアサ商事(株)	94頁
酒井重工業(株)	86頁	やまびこジャパン(株)	95頁
関東鉄工(株)	87頁	ヤンマー建機(株)	96頁
(株)ワイズマン	87頁	日立建機日本(株)	表3

建機レンタル No.13 (通巻第82号)

発行日 令和8年3月31日
 発行者 一般社団法人 日本建設機械レンタル協会
 〒101-0038
 東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYAビル2階
 TEL 03-3255-0511 FAX 03-3255-0513
 発行責任者 総務委員会委員長 瀧 哲也

総務委員会委員
 委員長 瀧 哲也 瀧富工業(株)
 委員 福山 慎一 双葉リース(株)
 委員 富山 政紀 日本建機サービス販売(株)
 委員 桐月 忍一郎 (株)カンキ
 委員 蔭山 啓介 滋賀建機(株)
 委員 門田 徹也 (株)東部レントオール
 委員 近藤 修一 (株)アクティオ
 委員 橋口 和典 (株)カナモト
 委員 関野 耕一 (株)ワキタ
 委員 山本 健吉 コミュニケーションリンク(株)
 委員 永島 一平 熊本中央リース(株)

制作編集 (株)博文社

つなぐ とどろ く ミライ

つながる。ひろがる。響き合う。

複雑で予測不能な現代、私たちユアサ商事グループは
モノやコト・いろいろなチカラを「つなぐ」ことで
イノベーションをおこし、社会の課題を解決していきます。
その先にある「GOODなミライ」へ。



ユアサ商事株式会社

shindaiwa®

貸して安心、使って満足!

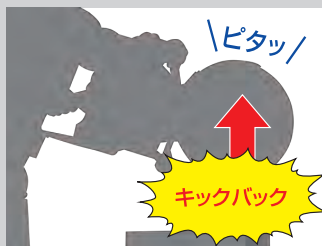
ブレーキ付エンジンカッター

新機構ブレードブレーキ搭載



12インチ **分離潤滑**
ECLD7412BS

ダイヤモンドブレード装着時
φ320mm、切込深さ130mm



作業者の安全を
サポート

ブレーキ作動を
動画でチェック!



[可搬形] マルチ発電機

25kVAマルチジェネレーター

三相・単相3線同時出力 [切替不要]

CO₂排出量が見える!



25kVA



25kVA



DGM25MKC-PD DGM25MKC-D

リチウムイオン蓄電池

拡張バッテリーで長時間作業もこなせる!

リン酸鉄リチウムイオンバッテリー

SLG1800B

定格出力: 1800W
バッテリー容量: 1536Wh
急速充電: 1.8 時間
質量: 25kg



SLG2400B

定格出力: 2400W
バッテリー容量: 1843Wh
急速充電: 2 時間
質量: 27kg



ラジコン草刈機



防塵防滴仕様プロポ

RJ705-WG -高機能飛散ガード付-
刈幅: 700mm、最大傾斜角度: 前後25°/左右45°



小石から拳大の石まで、異物の巻き込みや飛散の防止性能を高めました!



ガードチェーン



エンジンガード

クローラカバー

やまびこジャパン株式会社

お問い合わせ先 営業本部
0428-32-6181 (代表)

やまびこジャパン
サイトはこちら ▶





— BUILDING WITH YOU —



信頼を積み重ねた、この力とともに。

現場の声に応え、改良を重ねてきた。

その歩みが多彩なラインナップを生み出し、確かな信頼を築いてきた。

これからもお客さまと共に、次の挑戦へと進んでいく。

ヤンマー建機株式会社

- 北海道営業部 〒004-0004 北海道札幌市厚別区厚別東4条4-8-1 TEL(011)-807-3900
- 東北営業部 〒983-0025 宮城県仙台市宮城野区福田町南1-1-10 TEL(022)-259-7201
- 関東営業部 〒362-0025 埼玉県上尾市上尾下998-1 TEL(048)-778-4878
- 中部営業部 〒497-0050 愛知県海部郡蟹江町学戸2-33 TEL(0567)-95-5355

- 西部営業部 〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通1-7-30 TEL(06)-6783-1121
- 九州営業部 〒812-0857 福岡県福岡市博多区西月隈1-5-8 TEL(092)-441-0928
- ヤンマー沖縄株式会社 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-11-12 TEL(098)-898-3111
- 販売促進部 〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野1717-1 TEL(0942)-70-8993

yanmar.com

HITACHI

Reliable Solutions

日立建機から LANDCROSへ

Solutions Beyond Machinery

2027年4月1日、
日立建機日本株式会社はランドクロス株式会社へ社名を変更いたします。
信頼の伝統を、次の100年の革新へ。
世界の現場に寄り添い、新しい未来を切り拓く。



LANDCROS

特設サイトはこちら



画像の建設機械はイメージです。実際の製品とは異なります。

 日立建機日本株式会社 本社事業統括部

〒340-0004 埼玉県草加市弁天 5-33-25

TEL:048-935-2111

